北中連だより

2014年
夏　季　号
No. 120

加来　保　「岩礁の逆光」 1995年　　国立関門医療センター蔵

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
http://www.hokuchu.or.jp/

26年度　北中連役員名簿

平成26年6月16日

役職名	氏　名	組　合　名
会　長	自　見　榮　祐	響工業団地（協）
副会長	池　田　幹　友	北九州塗装（協）
〃	大　坪　常三郎	（協）一乗
〃	安心院　武　彦	小倉機器工業（協）
〃	松　本　和　朗	北九州工業団地（協）
〃	梯　　輝　元	魚町商店街（振）
常任理事	富　澤　善　和	新日本設備工業（協）
〃	岩　男　平八郎	萩原・青山商店街（協）
〃	村　山　克　彦	小倉鉄工団地（協）
〃	福　山　征　也	中間市建設（協）
〃	宮　﨑　敏　久	戸畑中本町商店街（協）
理　事	原　田　健　次	北九州葬祭業（協）
〃	白　石　春　利	（協）テクノタウン戸畑
〃	岡　住　　奏	（協）安協会
〃	川　田　　至	北九州市防水工事業（協）
〃	永　瀬　信　親	小倉電気工事業（協）
〃	大　江　宏　成	新門司工業団地（協）
〃	髙　木　壽　則	天神商店街（振）
〃	竹　原　健　次	戸畑貨物センター（協）
〃	樋　口　和　宏	八幡電気工事業（協）
監　事	杉　岡　密　雄	小倉駅前商店街（協）
〃	山　岡　義　昭	東小倉工業団地（協）
〃	井　上　　弘	小倉中央銀座商店街（協）

北中連だより

Contents

2014 Summer　No.120

目次

北中連
第39回通常総会 …… 2～4

掲載ページ

1 会長ご挨拶
2 北中連　第 39 回通常総会開催
5 北中連　新春シンポジウム・交流会開催
14 北中連　理事会・正副会長会
15 北中連　情報委員会・表彰選考委員会
16 北中連　工業部会・建設関連部会
17 北中連　商業部会・サービス業その他業種部会
18 北中連　金融税制委員会
中小企業団体九州・全国大会へのお誘い

掲載ページ

19 福機連北九州支部
通常総会・卓話会・交流会
20 市商連　第 45 回通常総会開催
21 北中連からのお願い
22 組合訪問記
小倉中央銀座商店街協同組合
23 組合訪問記
協同組合折尾商連
24 中小企業振興課からのお知らせ
25 雇用政策課からのお知らせ
27 子ども家庭局からのお知らせ

28 北中連日誌
30 会員名簿
33 協賛広告
40 会員加入のご案内

表紙絵

加来　保
「岩礁の逆光」　1995年
アクリル・麻布
181.8×227.3cm
国立関門医療センター蔵

裏表紙絵

加来　保
「創生」　1998年
アクリル、アルミコラージュ・麻布
181.8×227.3cm
国立関門医療センター蔵

会長ご挨拶

（一社）北九州中小企業団体連合会
会長　自　見　榮　祐

今年５月の総会は役員改選期で不肖私が会長に再選され、３期目の重責を担うことになりました。副会長を含めて役員の体勢もかなり若返り時代に即応した運営を心掛けたいと思います。一般社団法人の役員といっても全くのボランティア組織です。

事務局長と２人のパート職員、市の委託事業「若年者求人開拓事業」で求人開拓員を務めて頂いているお三方を含めて皆さんベテランばかりですが、実質的にはボランティア待遇？で頑張ってもらっています。毎日実務に携わる人はともかく役員一同はむしろボランティアを逆手にとってのびのびと発言、リードして頂いた方が北中連らしい活力が出るのでは、と思っています。新役員の方を初め会員各位の一層のご支援をよろしくお願いします。

経済評論家の多くがアベノミクス政策下での消費税増税は無謀極まりない、という意見でしたが、どうやら今のところ、日銀黒田総裁に軍配が上がったようで、ほぼ彼の思惑通りに物価水準が維持されています。不退転の決意と言いますが、もとより歴史は後戻りできません。前進あるのみですから、世界中、どこを見てもきな臭い環境の中で日本の生き残り戦略をかけて国を挙げてリーダーの覚悟が問われています。

７月18日には黒田総裁が福岡に来て、県下20名の大企業のトップや団体の代表が呼ばれオフレコの懇談会がありました。

私も北中連の会長として発言を乞われましたので「総裁がデフレ脱却宣言をして異次元の金融緩和策をとり新たな一歩を踏み出されたことを、中小企業者としても高く評価しています。ただしこれで安心ということではなくデフレスパイラル下の15年は単に空白があったのではなくその間の営みで、弱ったもの、壊れてしまったものが沢山あるので国はその部分をしっかり検証しておく必要があります。デフレの正体は何でも安いことこそが唯一の正義と言ったおかしな価値観が国民の間に蔓延したことも大きな要因の一つです。中小企業は付加価値を付けても、それに対する正当な対価を頂くことができないから赤字になるだけで、より良い製品を作れば、より良いサービスをすれば今より高い対価を頂けるはず、そうなると企業の売り上げも上がり従業員の賃金も上がるというプラスの循環に入ることが真のデフレ脱却」という話を中心に公正取引委員会のありようや公共入札工事の実態や中小企業者の社会的な役割などに話を広げ、働く人たちの現場の価値観は何があっても何とかしなければ、ですが新聞テレビの物差しは、何もかも完全であって当たり前の観念的な理想論ばかりなので、これに対抗できる健全な国民世論を形成する手立てが必要、と言いました。日銀さんのヒアリングというより県下のリーダーの方々を交えての懇談は面白い体験でした。

北中連第39回通常総会開催
～自見会長を再選～

会長挨拶

来賓の方々

一般社団法人北九州中小企業団体連合会（以下北中連）では、５月21日（水）15時00分から、ステーションホテル小倉５階「飛翔の間」において、一般社団法人への移行後、初めての決算となる第39回通常総会を開催しました。

総会は、来賓として松崎九州経済産業局中小企業課長、川上福岡県北九州中小企業振興事務所長、石井北九州市地域産業振興担当部長、春日商工中金北九州支店長、秋月福岡県中央会北九州支所長の出席をいただき、会員組合（委任出席を含め）50名が出席し、池田副会長の司会により、自見会長が挨拶を行い、来賓の紹介を行った後、大坪副会長を議長に選出して議事に入りました。

議案第１号　議事録署名人の選任については、大坪議長、自見会長、池田副会長が選任されました。

第２号議案「平成25年度事業報告並びに収支補正予算および正味財産増減計算書の承認について」（監査報告を梯監事が行う。）第３号議案「平成26年度事業計画及び正味財産増減予算書案の承認について」第４号議案「取引金融機関並びに借入限度額決定について」第５号議案「会費の賦課並びに徴収方法の決定について」まで慎重に審議し、全議案とも原案どおり可決承認されました。

第６号議案「定款の変更について」は、現行の会員規定を見直し、賛助会員のうち法人並びにこれらの者を構成員とする団体にも議決権を与え、加入促進を図るとともに本会運営への参画を促し、組織の活性化を図るための定款変更が承認されました。

第７号議案「役員の改選について」は、選考委員に柿原壽継、安心院武彦、松本和朗、富澤善和氏が指名され、選考の結果を柿原委員長が役員候補の「被指名人」を推選発表し、指名推選どおり全員が選任されました。

引き続き、新役員による理事会を開催し、互選の結果、会長に自見榮祐氏を選任し、副会長及び常任理事については次回の理事会において互選することが報告され、総会の審議は終了しました。

続いて、北中連の会長表彰の表彰式を執り行い組合功労者３名の方々が受章され、自見会長が祝辞を延べ、受章者を代表して宮﨑敏久戸畑中本町商店街協同組合理事長から謝辞が述べられました。

第39回通常総会表彰者名

組合功労者３名

杉岡密雄　小倉駅前商店街協同組合
宮﨑敏久　戸畑中本町商店街協同組合
月形孝司　北九州市防水工事業協同組合

表彰式終了後、ご臨席いただいている来賓を代表して、松崎治洋九州経済産業局中小企業課長、春日英哉商工中金北九州支店長から祝辞をいただき、祝電の披露が行われ、総会は盛会のうちにとどこおりなく終了しました。

懇親会

総会終了後、会場を移して多数の来賓の出席の下、安心院副会長の司会により懇親会を開催しました。

会長に再任された自見会長の挨拶に続き、多くの来賓を代表して北橋健治北九州市長、三原征彦北九州市議会議長から祝辞をいただき、宮田慶一日本銀行北九州支店長の乾杯の発声で祝宴に入り、来賓及び会員の交流を深め活発な情報交換がなされた。

最後に、川上瑞穂福岡県北九州中小企業振興事務所長が中締めを行い、松本副会長の閉会のことばで盛会のうちに終了しました。

承認された平成26年度基本方針、重点活動目標、実施事業は次のとおりです。

≪平成26年度基本方針≫

第二次安倍内閣の経済成長戦略により、円安等の好影響で自動車産業等輸出関連産業を中心に緩やかに回復してきているものの、原発の稼働停止などによる輸入燃料の増加と円安による輸入価格の高騰で安価な電力の安定供給、さらに、東南アジア等における需要の停滞、中国経済のバブル崩壊等が懸念され、先行きの不透明感は一向に改善されず、中小企業を取り巻く経済環境は依然として厳しい状況で推移するものと思われる。

かかる状況の下、北中連は会員相互の交流の強化を図り、国、県、市はもとよりあらゆる経済団体ともより密接な連携を強化し、中小企業の経営基盤強化のために積極的な社会参画を目指します。

なお、今年度は定款の一部を見直し、企業や団体会員の増強を図り、財政基盤の充実を図ります。

≪重点活動目標≫

1　国、県、市の中小企業施策、税制等に関する建議陳情
2　中小企業団体等の積極的な指導育成、組織強化
3　金融施策、経営、技術革新、教育等の情報提供事業の強化推進
4　労働対策及び中小企業経営者・従業員の福利厚生の向上
5　自治体からの各種委託事業への積極的な取組
6　県、市が実施する中小企業施策や環境施策等への積極的支援

表彰式

総会風景

≪実施事業≫

重点活動目標等の具体化のために、下記諸事業を実施します。

1　建議陳情

①　九州経済産業局、福岡県、北九州市の関係部局との懇談会、意見交換会の実施

②　中央会、商工会議所等の中小企業問題を扱う組織との積極的な連携

③　国、県、市が実施する経済対策、中小企業施策等に関する建議陳情

④　中央会の九州大会、全国大会への積極的な参加及び勧奨

2　中小企業団体等の指導育成、組織強化

①　経営課題をテーマにした講演会、研究会の開催

②　中小企業の組織化の支援・指導及び中小企業団体の支援

③　商工業等業種別先進地視察等の実施

④　４つの部会と２つの委員会の積極的な開催と活動促進

⑤　組合会員及び企業・団体会員の加入促進と組織の強化

3　情報提供事業の充実強化

①　機関誌「北中連だより」の発行、充実

120号　800部　夏季発行

121号　800部　新春発行

②　ひまわりネットの活用、充実強化

③　ホームページの充実強化

4　労働対策及び中小企業経営者・従業員の福利厚生の向上

①　労働環境改善支援と小規模企業共済制度への加入推進

②　国、県、市及び関係機関による労働問題に関する事業の共催、協力、支援

③　高齢者等能力開発、雇用対策等セミナー及び研修会の支援協力

④　火災共済及び損害保険に関する代理業務の推進

5　自治体からの各種委託事業への積極的な取組

①　北九州市若年者求人開拓事業の支援、協力

②　その他自治体からの委託事業への取組

6　県、市が実施する中小企業施策や環境施策等への積極的支援

①　北九州市環境審議会、北九州市環境産業推進会議、北九州市環境未来都市、ワーク・ライフ・バランス推進協議会等への参加と積極的支援

②　マイスター、技の達人事業等への積極的な支援

③　３Ｒ推進活動等の環境保全、省エネの取組に対する積極的支援

④　ＥＡ-２１の取得、広報の支援

なお、これらの事業に対する平成26年度の執行予算として、前年度とほぼ同額の総額22,168千円が承認されました。

北橋北九州市長祝辞

三原北九州市議会議長祝辞

北中連　新春シンポジウム・交流会開催
「日本を問い直す！北九州の実力は？」

平成26年２月25日（火）ステーションホテル小倉において、北中連及び中央会主催の新春シンポジウム・交流会を開催しましたのでご報告します。

モデレーターに日本銀行北九州支店の宮田慶一支店長、パネリストに北九州市産業経済局新産業振興部の鈴木優香部長、林田興産株式会社の林田直子専務取締役、北九州中小企業団体連合会の自見榮祐会長、をお迎えし掲題のテーマで意見交換をしていただきました。

これからの北九州を考える上で大変参考になるご意見をいただきました。交流会での情報交換を含め、大変有意義なシンポジウムでした。

以下にその発言をご紹介いたします。

［宮田］

不慣れではございますがモデレーターを務めさせていただきますので、よろしくお願いします。自見会長の開会のご挨拶にありましたように、今日のシンポジウムでは、何か結論的なものを導き出そうということではなく、様々な観点から意見を述べて頂いて、今後の北九州のあり方を考える上でのヒントみたいなものがいくつか浮かびあがってくれば成功ではないかと考えています。本日のパネリストは海外経験の長い若手の女性お二人と地元の長老ということですが、職歴もバッググラウンドも全く異なるお三方に自由にしゃべって頂くつもりですので、本日のシンポジウムは、まさに海図なき航海だと思っています。冒頭、私の方から北九州経済に関するいくつかの事実確認をさせていただいた後で、パネリストの方々にご意見を頂き、共通の論点をいくつか採り上げて会場の方々とも議論を進めさせていただければと思います。

北九州の特徴のまず一つ目は、やはりものづくりの街であるということ。総面積に占める工場敷地面積は横浜、堺に次いで第３位、事業所当たりの付加価値額は川崎に次いで第２位です。北九州の産業は100年近くにわたって、数々の苦難に直面しながらそれを乗り越え、改善・進化を遂げてきた結果、かなり高い労働生産性を備えています。

二つ目は政令指定都市の中で高齢化が最も進んでいるということ。

三つ目の特徴は一人あたりの所得水準が全国レベルより低位にあり、財政基盤が弱いということ。財政面で限界があるとすれば、民間の活力をいかに使っていくかということが重要なポイントになってきます。

以上の特徴を踏まえて私から三つの論点を提示させて頂きます。パネリストの方々には、私が提示する論点に囚われることなくご自由にご発言頂きたいと思っていますので、議論の参考程度に考えていただければと思います。

一つ目は、北九州の「ものづくり」をどのように生かしていくのか、ということです。北九州には高い技術を持った企業群の存在やそのネットワークがあり、良質な港湾、空港、自動車道、といった交通インフラ、さらには九州工業大学を核とした学術研究都市と言ったソフトインフラも充実しています。他方、これらのダイアモンドの原石が十分に生かされているのかと言えば、必ずしもそうではないように思います。北九州の「ものづくり」の力を、２次産業のみならず１次産業や３次産業も含めて、いかに生かしていくのかが課題だと思

会長挨拶

います。二つ目は今年の商工会議所のテーマでもありますが、いかにして北九州を賑わい繁盛させるか、ということです。この点、人口の高齢化は避けては通れない現実です。高齢化問題はネガティブな側面が強調されがちですが、新たなビジネスチャンスという側面も前向きに取り組んでいくことが大切です。また、北九州は食べ物がおいしいし、工業都市のイメージとは裏腹に自然が豊かでさらには各地域にユニークな祭りがあるなど非常に変化に富む有形無形の文化を持った土地だと思いますが、こうした特徴も十分に生かされていないように感じます。北九州市民には企業頼り、行政頼り、というメンタリティが染みついているとの指摘も良く耳にしますが、北九州を賑わい繁盛させるために市民、行政、企業、がより一体感を持って連携していくことが重要だと思います。

三つ目は日本の中で、世界の中で北九州市をどのように位置づけていくのか、ということです。旧５市の壁が依然として残っているとか、福北連携もなかなか思い通りに進まないとの声を良く耳にしますが、さらに大きな視点に立って、世界、とりわけアジアに対して北九州がどのように働きかけていくのかという点について、より明確なマスタープランが必要ではないかということです。とりあえずイントロダクションとしての私からのプレゼンテーションは以上です。

［鈴木］

私は横浜生まれですが、高校生の時に父がヒューストンに転勤になり、アメリカの高校に４年間行きました。アメリカの大学へ、とも思ったのですが、結局日本へ戻って日本の大学、大学院で薬学の勉強をしました。作文や書くことに苦手意識があったので、理系に行ったのですが、就職したのは文部科学省、そして今は北九州市に出向させてもらって、皆さんとのご縁ができています。文科省から２年間、ミシガン大学に留学させてもらった時は、公共政策学と高等教育学を学びました。

さて、北九州について、ですが、今、宮田支店長からデータに基づいてきちんと説明がありましたので、私はもう少し感情的に、こう思った、という話と、私は役人ですので、政府の役割について考えていることをお話しできればと思います。まず最初に北九州市について思うことは、「住みやすい街だな」ということです。「いいとこいっぱい、思いでいっぱい北九州」というキャッチコピーはその通りだと思っています。観光地もさることながら、ごく身近な勝山公園や、食事が美味しいことであったり、トイレが綺麗であったり、ということにより住んでいて居心地のいい街だなと感じています。北九州の良くないイメージを最初は持っていたのですが、住んでみると全くいい街だなと思いますし、転勤族で、福岡市に住んで北九州に通う人がいる、とかの話を聞くと、何とももったいない、と思います。アメリカではデトロイトの近くに住んでいたのですが、デトロイトが危ないというのと、北九州が危ないというのは全く話が違っているのです。デトロイトは廃墟に近い所もあって、歩いていて命の危険を感じることもあるのですが、北九州は基本的には全然安全ですし、夜遅くでも走っている人がいたりして、何の不安もありません。文科省の人達が北九州に来ると「北九州ってすごいね！」とよく言われます。学研都市、エコタウン、空港、北九大など、長年ずっとお金をかけて積み重ねてきたものは他都市ではできないものなので大切にしてほしいと思います。民間でもシャボン玉石鹸さんやサンキュードラッグさん、安川電機さん、TOTOさん、と他都市にはないような企業が沢山あることは非常に大切なことだと思います。庶民的な話ではサバの消費量が日本一、という事実もあります。青魚は頭が良くなる、とか言われますし、鮮度が勝負の海産物が美味しい、という魅力です。

次に「公の役割と日本型社会」ということについて、話しますと、社会を形作っているのは行政と民間、公と私、と言われますが、アメリカではもう一つ慈善事業が行政ができないところで結構大きな役割を担っています。カーネギーなどが資本主義を守っていくには利益を上げた民間や個人がきちんと慈善事業をやらねば、と強く主張していますが、日本はこの部分は非常に小さいと思います。逆に言えば行政が何もかもやってしまった、その代わり税金はアメリカよりも高いということですが。一方、教育一つとっても行政だけではできません。アメリカのハーバードやミシガン大学の女子学生比率は50%、東大は20%です。平等な教育をしてもこれだけの男女差がある、これは社会からの期待の結果なのか、なかなか学校サイドだけからではできないことも非常に多いのかな、と思っています。これらを踏まえ、行政がやらなければならないことは何か、と言えばやはり環境整備かなと思います。北九州がやってることでいいなと思うことを一つ紹介しますと、小倉都心部の商店街のリノベーションです。これは市役所がお金を出すとかこうやりなさい、とか言うのではなく、リノベーションスクールという形で２週間くらい勉強してもらって、商店街の活性化とはどういうことか、どういう物件をどう変えたらいいかというようなことを考えて頂き、それならやってみようか、と一歩を踏み出す環境を作ってあげるということです。公務員の仕事は世の中の、こんなことをやってみたい、何かの役に立ちたい、と思っている人が大勢いるので、その人たちの力を生かしてあげることだと思っていますので、私は北九州に住む人たちが、何か新しいことに挑戦したくて、わくわくしているという環境を作っていきたいと思っています。

［宮田］

ありがとうございました。では次に林田さんお願いします。

［林田］

私は高校まで北九州、大学は東京、ボストンの大学院を出た後はアーサーアンダーセンという監査法人に就職したのですが、ご承知のようにエンロン事件でこの監査法人が無くなる、という事態に遭遇して、シリコンバレーの監査法人事務所に移り監査の仕事を13年くらいして、父の死をきっかけに北九州へ戻ってまいりました。「何で戻ってきたん？」という言葉を随分聞かされ、それは何故日本に？か何で東京じゃなくて北九州に？かとか、いろいろと自問したのですが、話してるうちに、北九州は残念なところが多い、と思ってらっしゃる人が多いから、そんな質問が出るのかな、と受け取りました。でも私は、当時北九州は環境都市となっていましたが、これは環境に問題があったからそれを解決した課題解決都市であると私は思っています。今後も様々な問題点を解決していく力がある街と期待して、皆さんと今日のシンポに参加させて頂きます。

さて、エコノミスト誌から出ている「世界で最も住みやすい都市」ランキングのトップは３年連続メルボルンが１位とオーストラリア勢が上位なのですが、北九州市は100位に入っていません。大阪が12位、東京が18位、ハワイは22位で、ニューヨークも50位に入っています。評価の基準は①が安定性、②が健康管理、③が文化環境、④が教育、⑤がインフラです。①の安定性、の中に暴力云々の項目が25%入っているのですが、先ほどの鈴木さんのお話のように北九州は大阪や東京、アメリカに比べても全く危ない街ではありません。北九州というと、暴力とかロケットランチャーとかそんなことばかり言われますが、これはメディアが、北九州発ならこれはネタになる、という使い方をしているだけで、彼らにも変な発信はしないでくれ、北九州は安全、安心な街ですよ、と言い続けることが大切だと思います。②の健康管理で日本の他都市の例を見ますと長野県が「ピンピンころり」の町として有名な長寿県ですが、

これには定年退職しても働いている人が多い、とか公民館での生涯学習効果、とか地域医療の先進地で「自分たちの健康は自分たちで守る」という意識が「自分は健康と認識している人は長生き」となり、生きがいのある環境づくりとは、仕事、健康に加えて、鈴木さんのお話にもありました社会貢献ではないでしょうか。シルバー層へのボランティア情報の提供は非常に大切だと思います。私も青年会議所を始めいろんなボランティア団体に所属していますが、ボランティアステーションとかシニアネットワークアカデミー、ボランティア市民活動サポートセンターなどいろいろあります。先日の北九州マラソンでも4000人近くのボランティアが居ましたがシステムを使って集めなかったことはちょっと残念なことでした。ボランティアしてほしい人達がいる団体との結びつきができているか、という点は検討の要ありでしょう。北九州にはNPOとボランティア団体を含めると約500の団体があるそうです。

さて、話は飛びますが、北九州は技術の町ということですが、今後は福祉技術、環境技術、農業技術など、様々な分野での取り組みが必要かと思います。西部ガスさんも45日間でレタスを作り年間380万株生産するとか、産業が培った技術がいろんな分野で役立っています。日本の食料自給率は39%、アメリカは139%、国内では北海道が200%、東京は１%、大阪２%、福岡22%です。ちなみに100%を超える国はオーストラリア、フランス、カナダ、アメリカとなっています。福岡県は面積も少なく、農業には厳しいものがありましょうが、何もしなくていいのか、という話です。今まで「あって当たり前」のものでも「あって当然でなくなる」話をさせていただきます。私の母方は林酒造という幕末創業の造り酒屋です。少し前の資料ですが、現在、福岡の酒蔵は63蔵です。戦前は170蔵でした。日本全体では毎年40蔵ずつ減っています。少子高齢化や健康志向で需要が減った、と達観していたのでは、あらゆるものがあって当たり前ではなくなる時代になってしまいます。空港や港でもほっといてもあり続けるということにはなりません。地域にあって当たり前のものがなくなる！という危機感を持って問題点をみんなで議論して、アクションを起こすことが大事なことだと思います。愛郷心の育成に続けて、町ぐるみでのマーケティング、マーケティングとは単に自社のものだけに限らず、北九州の100万近い市民が出張なり旅行なり、よそに行った時には自分の町の物産や良い所を熱っぽく語り続けることが必要なのではないでしょうか。

［宮田］

ありがとうございます。では次に自見会長お願いします。

［自見］

今、お二人から、現在の北九州の実力、可能性、について触れていただきました。私のような年寄りが出てくるのは未来を語るにはやはり過去を知らないことには、ということで時間軸から経糸を紡ぐ役割かと思います。今年は第１次世界大戦から100周年という言われ方もあります。1914年12月に第１次世界大戦は始まったわけですが、北九州のルーツはその少し前、筑豊の石炭が見つかり、官営製鉄所の誘致合戦に勝利し、1901年に製鉄所がオープンしたのが始まりと言っていいでしょう。その前は単なる農村だったのです。地元の方は最近あまりご存じないけど、製鉄所ができて７年後には鮎川義介が弱冠28歳で戸畑に戸畑鋳物を創業し、今でいう持ち株会社である日本産業㈱を立ち上げ、日本何々という社名の会社は今の日産自動車や日立グループを含めて、ほとんど彼の手になるもので、戦時中には満州重工業株式会社の総裁に担ぎ出された超大物経済人ですが、井上馨の係累でもある鮎川義介の仕事のルーツも戸畑で

す。小倉が原爆の目標地になったのも、製鉄所をはじめ、小倉造兵廠などの軍需工業都市の色合いが強かったからで、要は富国強兵策の延長での国家プロジェクト規模の産業の出現で４大工業地帯として急成長してきたのがこの町の特徴です。幸か不幸か原爆は長崎に落とされましたが、北九州も度重なる空襲の被害で大打撃を受けました。朝鮮動乱などの戦後復興期に基幹産業も復活しましたが、逆に深刻な公害問題を惹起したり、西日本一円から流入した労働者問題、戦中戦後の在日朝鮮人を始め、様々な人権問題、労使対立問題などが発生しました。先ほど林田さんがこの町は課題解決型都市、と言われましたが、まさにこのような様々な問題をこの町は自力で解決して現在があります。デトロイトの危なさの話も出ましたが、鉄の町ピッツバーグや自動車の町デトロイトは一つの産業が斜陽になりますと、町全体が財政破綻都市に指定されるという事態を招来し、文字通りの危険な街角も発生したわけですが、北九州は民間の力で、諸々の課題を克服してきています。短い歴史の中でこれはこの町の大きな強みかと思います。「鉄冷えの町」とかのつまらぬキャッチコピーを付けて喜んだのもマスメディアですし、役所の人までがその言葉を使うのに私は憤りを感じていました。かつてIBMの会長さんが日経の私の履歴書で、昭和40年ごろに八幡で新しい厚板工場を作る時に、工場の全工程をコンピューター管理するシステムをと聞いた時に、まずは受注を決めるのが先、アメリカかドイツに行けばモデルはあるだろう、と楽観して受注したら、どこにもモデルはなく、結局製鉄所の優秀な高卒の職員さんたちが、0101のコンピューターの基礎から勉強して自分たちでシステムを作ってしまった、と脱帽していました。当時はとことん現場で自分たちの仕事を熟知している人たちが、自らのイノベーション力で技術開発を進めてきたということです。諸々の開発で結果的には10分の１の人間で同じ生産量を維持し、なおかつ世界一の品質の鉄を今も作り続けているわけですが、機械化が進み、人の雇用数が減ったことだけを目にして、マスコミは鉄冷えのレッテルを貼ったという訳です。暴力の町、というレッテルとよく似た事象です。公害克服も北九州市と公害防除協定書に署名された当時の製鉄所長さんは、四畳半でマッチ一本擦った折の亜硫酸ガスの濃度よりも煙突の煙の濃度を下げろ、と言われて、八幡だけでその対策には200億円かかる、製鉄所はこの町のルーツと思っていたけど役所はそれを潰す気か、と怒り心頭でした。結局は自力でのイノベーション力でその問題も克服してきたのですが、行政の無茶な強制が引き金にはなったのですが、解決したのは民間の開発力ということです。他にもこの町は差別問題の解決にも毎年数百億円単位の公金を投入してきましたし、マイナスレベルのものをゼロベースにまで解決してきた実績としては、健全な経済成長のためには、簡単にストライキなどを叫ばずに労使で経営責任を果たす、という労使協調路線を確立したのも北九州が先駆者です。結果として、非常に平準化した社会を作り出し、日本人の９割近くが中間層という意識を持つようになった原点かもしれません。今でも北九州の人は率直で好感が持てる、という印象があるとすれば、特権階級が居ないということかもしれません。古い都市ではリーダーと言えば十何代目とかいう人が結構いるのでしょうがここは歴史の浅い街故に、次々に若手のリーダーが登場できる柔軟性があります。街を使い捨てにして遷都するのではなく過去の負債の後始末をしてゼロベースに保ってはいるのですが、その状態ではまだ稼ぎが増えるということにはなりません。今の北九州市の収入の大きなものは固定資産税かと思います。税金払った土地の上での商いでどれだけの所得があるのか、それが他都市と比べてどうなのかということが問題だと思います。公害を克服し

て表彰受けてほめてもらっても、ほめてもらうだけでは金がついてくるわけではありません。環境で飯が食えるとはどういうことか、海外にそのノウハウを教えてあげるだけでは「ごっつあんです」で終わってしまいかねません。当面の環境問題で、昨日も議会でPCB処理問題が議論されていましたが、北九州市が国からの追加処理要請を受けるのを何故に逡巡するのか、全く理解できません。コスト負担や、公害を押し付けられるわけではありません。公害問題を克服した都市として、胸を張って、どんどん持っていらっしゃい、と胸を張って二つ返事で引き受けるべきではないでしょうか？行政自ら、いたずらに市民感情に不安をばらまいているようで、釈然としません。

モノづくり、とは、人間の身体能力、五感を使って、ものに働きかけてものを変化させることです。今、市では鈴木部長の管轄下で、北九州のマイスター制度がありますが、私も６年間くらいその診断員をやっています。今年はTOTOさんの塗装工の方がマイスターに認定されましたが、TOTOさんの衛生陶器、便器は平面ではありませんね。外形も内形も結構複雑な曲面、折れ曲がりがあります。それを手持ちの噴霧器でどの部分へも全く同じ厚みの塗料を噴霧するわけですが、その精度、時間はまさに神業と言ってよいレベルです。今、その作業に安川電機さんのロボットが導入されつつあります。でもロボットに振付をするのはベテランのマイスターの仕事です。どの面にはどの角度で、何10センチの距離から何秒とミリ単位、10分の１秒単位で数値をインプットする作業が必要です。結果としてロボットの方が、何割かはマイスターよりも作業時間の短縮ができますが、もともとの作業を極めた人間が居続けないといけません。ロボットが人間を教育することはできません。

慈善事業やボランティアの話もありましたが、宗教文化の背景の違いもありますので、最後の審判を受ける際に、一生のつじつま合わせが必要？で慈善が社会化されている世界に比べ、日本人の基本は感謝する心、とか互いに助け合う、とかの心性が基本かと思います。むしろ金で済まそうとすることが嫌われたりもしますが、共助の精神で、ボランティア活動が活発になるのはいいことだと思います。まずは身近なところでの共助でしょう。

人口問題の少子高齢化はどこも同じです。我が街だけはそれから逃れたいと言っても無理です。今、北九州市民にアンケート調査をしたら、東京にあるものはすべて欲しい、福岡には絶対負けるな、とかの話ばかりが出てきます。その意味で我が街の歴史と今の実力とみんな分かった上で、これは中長期的に勝負しましょうよ、とか近隣都市との連携を考えましょう、とかの落ち着いた雰囲気の中で話が進んでいく必要があります。国家プロジェクトの誘致に成功したから４大工業地帯として栄えた歴史を、夢よもう一度と望むなら、北九州空港が、今北九州が持っている潜在能力としては一番の資産だと思いますが、これを起点に再度国家プロジェクトを引っ張り込むことができるか、あるいは、住みやすい街で十分、賑わいは東京や福岡を利用すればいい、でいいのか、です。上手に縮むには財政問題抜きには不可能ですから、ハード、ソフト共に行政サービスを何処まで縮めることが可能かとか、色んな観点から考えていただければ、と思います。今日の「日本を問い直す、北九州の実力は？」というタイトルは主催者側で一方的に決めさせていただいたのですが、いきなり夢を語るのではなく、足元をチェックしたうえで、冷静に明日を語ろう、という主旨ですので、よろしくお願いします。

［宮田］
　ありがとうございました。少し休みを入れるつもりでしたが、懇談会までに15分しか時間が無くなりました。すでにいろんな論点は出ていましてそれだけでも価値はあったのかなと思いますが、少しだけでも議論を進めましょう。北九州について良くないイメージが一般的にあるとの話がありましたが、この点については確かにマスコミの問題もあると思います。一方で北九州の良さが伝える努力が不十分という面もあると思います。林田さん、北九州のお酒を売り込む努力をされていると思いますが、何かお感じになることはありませんか？

［林田］
　つい最近、輸出を始めてこの１月に上海に進出したのですがブランディングが全くない状態というか、まっさらな状態のマーケットがあるという感じで、日本なら東北の酒がどうの、新潟はとか、最近では山口の獺祭や福岡の喜多屋が金賞取ったとか、話題になってますが、国内の消費量の落ち込みは続くでしょうから、どうしても外を見ておかないといけない、という現実があります。まあ、多様なマーケットを見ておかねば、ということです。私が北九州に帰って最初に感じた北九州人の傾向は、例えば京都に行けばまずは駅で利き酒セットを飲むのですが、小倉の店では福岡県の酒を置いていません。市内の客だけをターゲットにしていて、市外からの客は全く意識してないように思います。

［宮田］
　鈴木さんはいかがですか？

［鈴木］
　東京に居て思ったのは、北九州市というのを知らない人が多いということ。福岡県には小倉とか博多とかいろいろあるイメージはあるけど、北九州市はどこにあるのかはっきり分かっている人は意外と少ない。ブランディングということでは、九州の玄関口というのであれば、北九州で九州の名産品が全部揃うべきかと思いますが、そんなことはありません。行政の立場からすると北九州のものを売って下さい、と言いたいところですが、ここに来れば九州のすべての味を味わえます、ということもあってもよいのではと思います。

［宮田］
　自見会長何かございませんか？

［自見］
　昨日の新聞でも又暴力団が善良な市民に発砲した、と出ていますが、暴力団は全国の都市に平等に？存在します。もちろん撃たれた人の人権は大事ですが、本人ではなくてもその係累縁者に何らかの形で過去に暴力団と接点があったからで、無辜の一般市民が無差別に狙われているわけではありません。事件があれば慌てて近隣の小中学校の登校を止めるとか、行政が大騒ぎして見せるのに何か意味があるの？という気持ちです。よその都市なら三面記事にもならないような事件が北九州発になれば大きなニュースバリューが生じる、というのはメディアにも責任があります。今日いろいろ話も出ましたが北九州は基本的には安全安心な街です。胸を張って言い続けるしかないのですが、一度張られたレッテルをどう剥がしていけばよいのか、暴力団をやっつけるのは警察の仕事です。ところが、警察での容疑者の取り調べ一つをとっても、全部ビデオで記録せよ、とか容疑以外のことを一言でも質問したら弁護士がクレームをつけに来る、とか取り締まる方が完全に丸腰にされています。容疑者に弁護士が接見するときの記録は何故撮れないのか、警

察に言わせると、非合法集団を合法的に壊滅できるかというと非常に難しい、と言います。市民が盾になって立ち上がる前に、法的な整備も喫緊の課題だと思います。無論、戦前のオイコラ警察は嫌ですし、交通切符を切られるイメージもあって、市民と警察の信頼関係の構築も必要かと思います。

［宮田］
個人的に一番知りたいと思ったことは自見会長からお話のあった北九州のルーツの話です。これまでの歴史の中で北九州は数々の困難を乗り越えて産業構造を柔軟に変化させながら、進化を続けています。大づかみな質問で恐縮ですが、こうした北九州の産業基盤の強さの源泉はどこにあるのか、今後、北九州経済はどういう方向を目指せばよいとお考えでしょうか？

［自見］
半分以上は守りをしっかりするということです。八幡製鉄所も旭硝子も東芝もみんなそうですが、個別の製造工場単位でみると３段階での競争に曝されています。まずはグローバルレベルでの同業者間での競争、二番目は国内での同業者間競争、そして三番目は自社内の工場間競争です。昔、八幡、富士合併直後の八幡製鉄所は新日鉄の組織表の上では、本社の次に八幡製鉄所があって、次からは室蘭、釜石、と北から南におりてくるという、八幡は別格？の扱いだったのですが、今はどの工場に投資すればもっとも効率が良いか、コンピューターで答えがすぐに出てくるのです。東芝の解体工事を毎日横目に見ながら、企業市民としてこの町は住みよい街であるのかどうかと、自問しないといけません。先ほど話の出ましたようにこの町は企業城下町と言われた時代の名残で何もかも大企業に、おんぶにだっこ、という面がありました。新しい工場誘致のために、様々なインセンティブを提示してばかりでなく、既存の工場が逃げ出さなくてもいいように、大事にしてあげる感覚も大切でしょう。インフラとしての産業基盤はしっかりあります。特に誇れるのは港湾、良質な上下水道、なかんずく北九州空港は巨大な価値を秘めています。中長期には空港は再度北九州経済の強力な切り札となってくるでしょう。航空機産業を初め、好むかどうかは別にして軍需産業的な集積地としての候補地にもなりうるでしょう。少子高齢化に反して我が街だけは経済的に成長して豊かになりたい、と願うか、そんなものは嫌よ、今の、住みよい街を徹底的に大事にしましょう、となるかは市民の選択でしょうが、縮むことの難しさ、リスクの大きさは想像を超えるものがあると思います。中小企業に関して言えば、最近の行政は補助金をどんどん出すから、付加価値の高い仕事に転換しろ、とかベンチャービジネスの振興に汲々としていますが、もともとは中小企業の存在そのものが日本特有のベンチャーマーケットです。付加価値は付けているけど正当な対価を頂けない、というデフレスパイラルの中で体力は消耗していますが、いくら不満があろうが、夜が明けたらちゃんと出勤してきてデイリーの仕事を黙々とこなす、というのが昔ながらの日本人です。こういう価値観をどうやって維持するのか、が大きな課題でしょう。工業地帯、暴力の町、というイメージを払拭できさえすれば、北九州は山紫水明、都市基盤はしっかりしているとなれば第三次産業が発展できる要素も多分にあります。

［宮田］
時間が無くなりましたが鈴木さん、林田さんからひとこと。

［鈴木］
やはり自ら考えて、何かをやって、それを

楽しいと思って成長していくことが大事だと思います。北九州市の職員ですし、北九州市という枠組みは活かせれば活かしたいですけど、100年後200年後に北九州市が無くなっていても、その方が市民が幸せなら、それでもいいのかなと思ったりもします。何はともあれ、皆さんがやりたいことを、頑張ってやっていただく、というのが一番いいかなと思います。

［林田］

私はこの町に帰ってきて思うことは、個々人それぞれが元気だな、ということです。それぞれが頑張って活動していればそれぞれの細胞が動いて町は絶対に良くなる、と信じています。それぞれの分野で問題を認識して細胞が活性化されることが大切なのではないでしょうか。大好きな街ですからどんどん元気になって欲しいし、ここにお集まりの方々がおられたら、この町は良くなると私は信じていますので、今後ともよろしくお願いします。

［宮田］

ありがとうございました。私の仕切りが悪くて、パネリストの方はまだ言い足りない部分があるでしょうし、会場の方から直接ご意見を聞く時間も取れませんでした。皆さんフラストレーションが溜まったのではと思いますが、引き続きの交流会で是非活発な議論を続けていただければ、と思います。とりあえずの仮締めとさせていただきます。ありがとうございました。

左から　宮田支店長、鈴木部長、林田専務、自見会長

登壇者プロフィール

宮田 慶一 氏　日本銀行北九州支店長（平成25年３月より現職）

・昭和63年慶應義塾大学経済学部卒業、日本銀行に入行。福岡支店、パリ事務所、金融市場局、国際局、金融研究所などで主に国際金融や調査・研究関連業務に従事。

（趣味）ラグビー、現在も（一応）現役。100キロウォークと北九州マラソンに参加し、ともに完歩・完走。

鈴木 優香 氏　北九州市産業経済局新産業振興部長　（平成24年７月より現職）

・平成15年　東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了　文部科学省入省。

・文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室、文部科学省科学技術・学術振興局安全・安心科学技術企画室専門職、ミシガン大学（留学）、文部科学省研究開発局海洋地球課課長補佐

林田 直子 氏　林田興産株式会社専務取締役　（平成22年より現職）

・平成10年聖心女子大学卒業、12年ボストンサフォーク大学大学院経営学部会計学科（MBA）卒業、アーサーアンダーセン会計監査法人やKPMG会計監査法人にて監査の仕事に従事、22年帰国

・北九州青年会議所副理事長、中央銀座60周年事業実行委員会委員長など、まちの活性化に邁進中。

自見 榮祐 氏　北中連会長　（平成22年６月より現職）

・昭和39年九州大学文学部哲学科社会学を卒業、藤沢鋲螺㈱入社、42年奥小路工業㈱入社、44年自見産業㈱入社、58年社長、平成14年還暦を期に会長

・北九州環境審議会、北九州市新成長戦略推進会議、北九州市エネルギー推進会議等の委員など

北中連理事会

３月25日（火）14時30分から商工貿易会館の会議室において、理事11名、監事３名が出席して理事会が開催され、25年度補正予算案、26年度事業計画・正味財産増減予算案、第39回通常総会日程、定款の一部変更、加入脱退などを審議し承認された。

４月21日（月）10時15分から商工貿易会館の会議室において、理事12名、監事３名が出席して理事会が開催され、第39回通常総会議案の25年度事業報告・補正予算・正味財産増減計算書案、26年度事業計画・正味財産増減予算案、会費の賦課、定款の一部変更、役員の改選等を審議し承認された。

６月16日（月）17時からホテルニュータガワの会議室において、理事13名、監事３名が出席して理事会が開催され、26年度上半期行事計画、副会長・常任理事等の互選、部会委員会の委員の選任、４部会と金融税制委員会の日程、第57回中小企業団体九州大会及び第66回中小企業団体全国大会の参加等を審議し承認された。

続いて、石井市産業振興担当部長が市の施策説明を行った。

理事会終了後、石井部長、春日商工中金北九州支店長が出席の下、懇親会を開催し、情報交換と交流を図った。

北中連正副会長会

３月25日（火）13時30分から商工貿易会館会議室において、自見会長、池田、大坪、安心院、松本副会長が出席して正副会長会が開催され、理事会提出議案の各種経過報告、平成25年度補正予算、平成26年度事業計画・正味財産増減予算（案）、総会日程（５月21日（水）15：00～　ステーションホテル小倉）、会員増と組織活性化のための定款変更、役員改選に伴う手続き等について協議が行われた。

４月21日（月）９時30分から商工貿易会館会議室において、自見会長、池田、大坪、柿原、安心院、松本各副会長が出席して正副会長会が開催され、理事会提出議案の第39回通常総会提出議案及び総会の役割分担や総会における表彰式及び表彰者等について協議が行われた。

北中連情報委員会

３月14日（金）11時00分から市立商工貿易会館６Ｆ会議室において委員６名、オブザーバー１名が出席し、情報委員会が開催された。

委員会では、機関誌「北中連だより118号（夏季号）、119号（新春号）」を参考に発行部数、配布先や印刷経費等について、事務局より説明がなされた。

委員からは、北中連だよりの経済研究会シンポジウムや先進企業視察、組合訪問記等の記事は興味を持って読んだなどの意見が出された。

また、FAX通信「ひまわりネット」は、市の施策や講演会、講習会等の広報を中心に45件の発信を行い、ホームページについては、年間2,000件近くのアクセスがあったことが報告された。

「ひまわりネット」のメールでの配信を希望される会員については事務局までご連絡ください。

北中連表彰選考委員会

４月８日（火）14時00分から市立商工貿易会館　会議室において、川上県北九州中小企業振興事務所長、石井北九州市産業振興担当部長、春日商工中金北九州支店長、秋月県中央会北九州支所長及び自見会長、大坪、柿原、安心院、松本各副会長が出席し、表彰選考委員会が開催された。

種々検討し選考の結果、申請候補の中から北中連会長表彰として次の方々を決定した。

〈組合功労者〉３名
杉岡密雄　小倉駅前商店街（協）理事長
宮﨑敏久　戸畑中本町商店街（協）理事長
月形孝司　北九州市防水工事業（協）副理事長

なお、今年度の優良組合及び組合優良職員は、該当がありませんでした。

また、同時に県中央会会長候補、中小企業団体九州大会、中小企業団体全国大会の推薦候補者をも併せて選考し、県中央会へ具申することに決定した。

北中連工業部会

７月28日（月）16時からホテルニュータガワの会議室において、委員12名、オブザーバー１名が出席のもと、工業部会が開催された。

会議では、昨年度の県、市に対する要望陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われ、続いて平成27年度要望について意見交換し検討した結果、

(1)　廉価な電力の安定供給
(2)　中小企業の技術・技能の継承支援
(3)　中小企業の人材確保、人材育成の継続
(4)　エコアクション21取得の支援
(5)　事業所税の税率の軽減、免税点の拡大
(6)　共同出展支援及び補助支援

などを要望事項とする。

その他に、製造現場での若者の減少、技術の伝承、職業訓練レベルの向上、外国人労働者の受入体制の充実、物流関係の現状、工場拡張による事業所税の免除、最低賃金への対応などの意見が出された。

北中連建設関連部会

７月23日（水）15時00分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員５名、オブザーバー３名が出席して建設関連部会が開催された。

会議では昨年度の県、市に対する要望陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われ、続いて、平成27年度要望について検討した結果、

(1)　官公需適格組合や協同組合等への受注機会の増大
(2)　防災・減災や改修工事予算の増額
(3)　最低制限価格の更なる引上げ
(4)　設計価格単価の見直しは迅速に
(5)　県の建設工事における専門工事の分離発注を
(6)　建設関連業支援策の継続実施

などを要望事項とする。

その他に技術者、後継者が不足している電機業界や塗装業界の現状、青年部活動への支援等について意見交換を行った。

北中連商業部会

７月23日（水）13時30分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員５名、オブザーバー３名の出席のもと商業部会が開催された。

会議では、昨年度の県、市に対する要望陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われ、続いて、27年度要望について意見交換し検討した結果、

(1) 空き店舗補助事業の増額、期間延長、審査期間の短縮
(2) 商店街活性化条例の広報、周知の徹底
(3) 若手経営者や後継者の育成・支援
(4) プレミアム商品券事業について県補助に加えるかもしくは代替補助金の構築
(5) 放置された商業ビル等への対処
(6) 公共施設に対する民間活力の活用方法
(7) リノベーションによるまちづくりへの支援
(8) イベントなどで使用する道路の規制緩和及び手続きの簡素化、費用の軽減

などを要望事項とする。

その他に、特区を活用した規制緩和、空き店舗や起業家支援やのワンストップサービス、防火設備の改修補助などについて意見交換が行われた。

北中連サービス業その他業種部会

７月22日（火）15時00分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員など６名が出席してサービス業その他業種部会が開催された。

会議では昨年度の県、市に対する要望陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われ、続いて、27年度要望について検討した結果、

(1) 「地産地消サポーター制度」の継続
(2) 「農林水産物のブランド化」の掘起しとＰＲの継続
(3) 産業観光等歴史的景観的観光資源の掘り起こしと広報
(4) 避難所となる公共施設等へLPガス設備や機器の設置

などを要望事項とする。

その他に、ビルメンテ業界、LPガス業界、運送業界、北九州市の観光振興などについて意見交換がなされた。

北中連金融税制委員会

７月22日（火）13時30分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員など８名の出席のもと金融税制委員会が開催された。

部会に先立ち市の中小企業振興課の上野融資担当係長から「市の融資制度について」、商工中金の末吉営業第二課長から「商工中金の現状について」説明を受けた。

会議では、昨年度の県、市に対する要望陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われ後、27年度の要望について検討した結果、

(1)　制度融資の貸出金利の引き下げ充実
(2)　交際費の全額を経費に
(3)　事業所税の税率の軽減及び免税点の拡大
(4)　中小企業の軽減税率の引下げ・恒久化

などを要望事項とする。

その他にアベノミクスの効果、景気回復時の対応策、運転資金の調達方法などについて意見交換が行われた。

中小企業団体九州・全国大会へのお誘い

九州や全国の中小企業団体が一堂に会し、英知の結集と団結の強化を図り、中小企業の振興に必要とする施策の実現を図ることを目的に、九州大会及び全国大会が下記のとおり開催されますので、多数ご参加くださいますようご案内いたします。

第57回中小企業団体九州大会

日　時：平成26年９月４日(木)15：00～
場　所：崇城大学ホール(熊本市民会館　熊本市中央区桜町)

第66回中小企業団体全国大会

日　時：平成26年10月23日(木)13：30～
場　所：日比谷公会堂(東京都千代田区日比谷公園)

通常総会・卓話会・交流会

福機連北九州支部

７月28日（月）16時50分から、ホテルニュータガワ会議室において、福機連北九州支部の26年度総会・卓話会・交流会が開催されました。

総会議事では平成25年度事業報告、収支決算及び監査報告（富澤監事）に続き、平成26年度事業計画及び収支予算案及び役員の改選が上程され、何れも原案通り可決承認された。

引続き行われた卓話会では、昨年、北九州市役所を退職され、北九州エアターミナル株式会社の代表取締役社長に就任された片山憲一氏を講師にお招きして「北九州空港をめぐる諸問題」をテーマにお話をしていただきましたので、その一部を紹介します。

◎北九州空港は24時間運用、2,500mの滑走路（3,000m拡張可）を有す。

◎圏域人口は、山口県、福岡県、大分県にまたがる200万人

◎国内に６個所しかない24時間運用空港の一つ（千歳、東京、中部、関西、那覇、北九州）。

◎北九州空港の路線が増えない理由

①北九州地域のマーケットが小さい。

②北九州空港の知名度が低い。

◎北九州空港からの就航先を増やすには

①交通アクセスの向上

②空港間競争の中で知名度向上

③福岡空港と差別化した路線が重要

◎九州で唯一の24時間空港を活かす

①東京オリンピックでは九州に400万人のインバウンド客が見込まれる。

⇒福岡空港は満杯

②長距離観光客を受入れるために滑走路の3,000m化を急ぐ。

④国際線を受持つターミナルを整備しアジアからのLCCを引受ける。

◎LCC：格安航空会社のこと。今後急速に伸びると予測されている。

◎北九州空港を如何に活用するか

①スターフライヤー社の拠点化

②MRJの飛行試験基地から整備基地へ

③航空機産業の育成・拠点化

④立地を生かした空・陸・海の一貫輸送

◎北九州を元気にするため下記の資産

①アジアマーケットへの近接性

②産業技術とモノづくり関連人材

③蓄積された都市施設・住宅

④自然災害の少なさ

⑤充実した産業インフラ

⑥海・山に近い自然環境

⑦眠っている歴史資産

を再評価することなどについて、わかりやすく話していただきました。

卓話会終了後、多くの来賓の出席の下、交流会が開催され、来賓及び会員相互で種々情報交換が行われ、盛会裏に終了しました。

卓話会

第45回通常総会開催

北九州市商業総連合会

６月12日（木）17時からリーガロイヤルホテル小倉において、会員30名が出席して北九州市商業総連合会第45回通常総会が開催された。

議長には中川会長が指名され、平成25年度事業報告並びに収支決算及び平成26年度の事業計画、収支予算（案）、役員補選などを審議し、原案通り可決承認された。

総会後の懇親会は、来賓を代表して川上県北九州中小企業振興事務所長、自見北九州中小企業団体連合会長が祝辞を述べた後、羽田野北九州商工会議所専務理事の乾杯の発声で始まり、商店街の現状や課題などについて、和やかな中に活発な情報交換・交流がなされた。

最後に、澤村市商連副会長が中締めの発声を行い盛会のうちに終了した。

ご臨席いただいた来賓の方々（順不同）

川　上　瑞　穂	福岡県北九州中小企業振興事務所長
羽田野　隆　士	北九州商工会議所専務理事
里　村　　勉	北九州商工会議所中小企業部長
大久保　一　衛	福岡県商店街連合会事務局長
自　見　榮　祐	北九州中小企業団体連合会長

中川会長挨拶

市商連役員名簿　26.6

会　長	中　川　昭　之	（八幡西区）
副会長	永　田　　眞	（門　司　区）
〃	甲　山　博　美	（小倉北区）
〃	田　中　孝　文	（小倉南区）
〃	澤　村　弘　義	（八幡東区）
〃	宮　﨑　敏　久	（戸　畑　区）
〃	安　部　研　一	（若　松　区）
理　事	佐　伯　勝　彦	（門　司　区）
〃	瀬　口　裕　章	（小倉北区）
〃	上　田　悦　造	（小倉南区）
〃	三　木　信　雄	（八幡東区）
〃	野　添　好　弘	（八幡西区）
〃	髙　木　壽　則	（戸　畑　区）
〃	北　山　勝　志	（若　松　区）
監　事	星　野　正　俊	（八幡東区）
〃	合　田　荘　平	（戸　畑　区）

総会風景

北中連からのお願い

若年者向けの求人は、「若者ワークプラザ北九州」へ

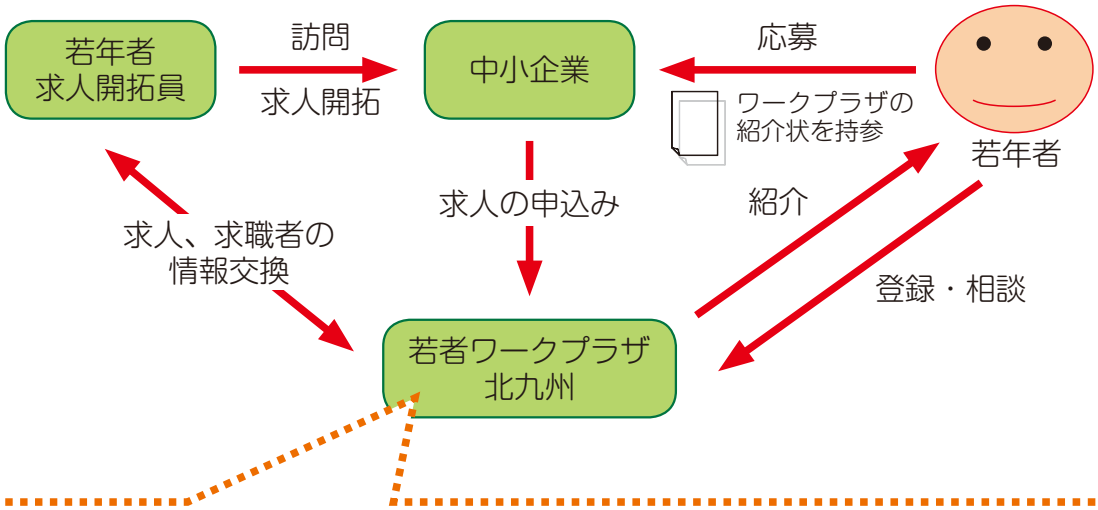
北九州市からの受託事業「若年者求人開拓事業」へのご協力をお願いします。

北中連では、北九州市からの委託事業として「若年者求人開拓事業」を行っています。求人開拓員（北中連の職員）が市内の企業を訪問して若年者向けの求人を開拓するものです。

この求人情報を北九州市が運営する若年者向けの就業支援施設「若者ワークプラザ北九州」で活用し、ミスマッチの少ない職業紹介を実施することで、若年者の就業と企業の皆様の人材確保に寄与しています。

求人開拓員が皆様の組合や企業を訪問します。趣旨をご理解いただき、求人の申込みに是非ご協力ください。（無料で利用できます。）

若年者求人開拓事業の流れ



『若者ワークプラザ北九州』

若年者（概ね40歳まで）に対し、就業相談、各種情報提供、講座やセミナー、職業紹介等を実施して就業を支援する施設です。求職者へのカウンセリングにより、ミスマッチの少ない職業紹介を実施しています。

平成25年度は、延べ15,100人の利用があり、様々な資格や職務経験を持つ若年者が登録しています。

＜お問合せ先＞
（一社）北九州中小企業団体連合会　　TEL：093-531-0127　担当：野瀬

組合訪問記

《組合概要》

団体名　小倉中央銀座商店街協同組合
代表者　井　上　　弘
所在地　北九州市小倉北区魚町1-2-5
ＴＥＬ　093-531-6785
ＦＡＸ　093-531-6786
設　立　昭和58年２月３日
業　種　商店街（物品販売・飲食等）
組合員　51名

お店にて

組合設立の動機や苦労話など

小倉中央銀座商店街協同組合は、ちゅうぎん通り（魚町商店街から１筋紫川よりの旧電車通りからJRのガードまでの約500m）の両側に立地する商店等で組織され、アーケードの建設を主な目的として設立された組合です。アーケードの建設に反対する人の説得に大変苦労しましたが、昭和58年にどうにか完成することができました。

さらに、建設後、30年近くが経過し、アーケードが古くなったので、熊本や広島、四国などの商店街を視察し建て替えを検討しました。ちゅうぎん通りが県道のため道路全体を覆うアーケードは設置できないので、片屋根で雨水を内側に取りこむ方法を採用し、歩道のカラー舗装も同時に行い、平成24年に完成しました。

この時も反対者の説得に苦労しましたが、片屋根で雨水を内側に取りこむ方法が全国的にも珍しいということで県外からも見学にこられました。

何をするにも反対者はつきもので、押し切らざる得ない時もありますね。

活動状況など

魚町商店街が全体で実施する行事には参加していますが、組合単独では、今年の１月２日に「大乾杯大会」を開催しました。

当日は、通りを歩行者天国にして炬燵をだし、カルタやスゴロク、綱引き大会などを行い大盛況でした。今年も１万人を目標に実施したいと思っています。

また、アーケードや看板などをLED照明に変え、明るくなったと好評を得ており、道路沿いの花壇には四季折々の花が咲き、人通りも多くなっています。

当面の課題など

世の中の少子高齢化を嘆いても仕方がないので、女性や若者のファションと食事を結び付け､「女性や若者がそぞろ歩くまちづくり」を企画するため、研修会や勉強会をしようと思っています。

代表者の趣味など

若い頃は、釣りやゴルフ、ボーリングなどに熱中し、鱸の45cm級を釣り上げたこともありましたが、今ではもっぱら釣りに専念し、休みなどは白島あたりに船を出し、鯛などの五目釣りを楽しんでいます、と笑顔でお話されました。

小倉祇園を迎え、お忙しい中、お伺いしたにもかかわらず、終始穏やかにお話いただきありがとうございました。

組合訪問記

《組合概要》

団体名　協同組合折尾商連
代表者　野　添　好　弘
所在地　北九州市八幡西区折尾3-1-32
ＴＥＬ　093-691-1462
ＦＡＸ　093-691-5678
設　立　昭和61年10月１日
業　種　商店街(物販、サービス、飲食等)
組合員　108名

組合事務所にて

組合設立の動機など

折尾駅を中心に自然発生的に商店等が集積し、街の発展とともに商店街が形成、組織化され、昭和29年頃に折尾商連の前身である「折尾商工連合会」が設立されました。

その後、大規模小売店舗の進出とそれに伴う商店街の空洞化等で、商店街を取り巻く環境が大きく変わっていく中、組合運営の近代化を進めるため、昭和61年に「協同組合折尾商連」を設立し、法人化しました。

商店街は、学園大通り、折尾一丁目、折尾駅南と３地区で形成され、いずれも道路沿いに商店や事業所が点在し、アーケードなどは設置していません。

活動状況など

中元セールや歳末セールなど共同宣伝事業の「販売促進委員会」、賀詞交歓会や折尾まつりなど地域活性化の「総務委員会」、折尾料飲組合と合同で“ORI-NAVI「折尾案内」”(通称オリナビ）の発行など、広報事業の「おりおマップ委員会」、ホームページやインターネット事業の「おりおねっと委員会」と福利厚生、教育事業の青年部が組織され組合事業を運営しています。

従来は、中元セール、歳末セール、シール発行事業を行っていましたが、時代のニーズにより、IT事業（ホームページの作成）や地域情報誌の発行を行うなど、情報発信にも力を入れています。

また、県の地域経済活性化支援策の「プレミアム商品券」を歳末セールで併用し、今年は中元セールでも発売します。更に、全国商店街支援センターの商店街活性化支援事業を活用し、「次世代リーダーの育成」や「個店の魅力アップ」などの勉強会を開催しています。

一方、地域の自治会や学校、学園などの関係者をお招きしての賀詞交歓会や地域最大のイベントで25回を迎える「折尾まつり」などを開催し、多くの参加者を得るとともに地域との交流を図っています。

これからも、多方面にわたり、地域を大切に活動することが大事だと感じています。

当面の課題など

現在進められているJR折尾駅周辺の「折尾地区総合整備事業」は、完成までに10数年を要す大事業であり、長期にわたる工事の影響で、客離れや商業者の疲弊が懸念されます。これらの課題を克服するためにも、組合員の増強や次世代リーダーの育成が急務と考えています。

代表者の趣味など

若い頃は、ゴルフなどいろいろしていましたが、今では飲み会とその後のカラオケぐらいですかね！と笑って話されました。

お忙しい中、お伺いしたにもかかわらず、終始笑顔でお話いただきありがとうございました。

産業競争力強化法に基づく「北九州市創業支援事業計画」の認定について

北九州市は、平成26年１月20日に施行された「産業競争力強化法」に基づき、地域の創業支援事業者と連携した相談窓口の設置、専門家による支援、創業セミナーの開催等の創業支援を実施する「北九州市創業支援事業計画」を策定するとともに、国に対して申請し、６月20日付けで認定されました。

当計画では、本市の強みである技術や人材の蓄積、大学や研究機関の集積といった地域資源を活用しながら、地元の中小企業支援機関や金融機関と連携し、創業に関する総合的な支援を行います。

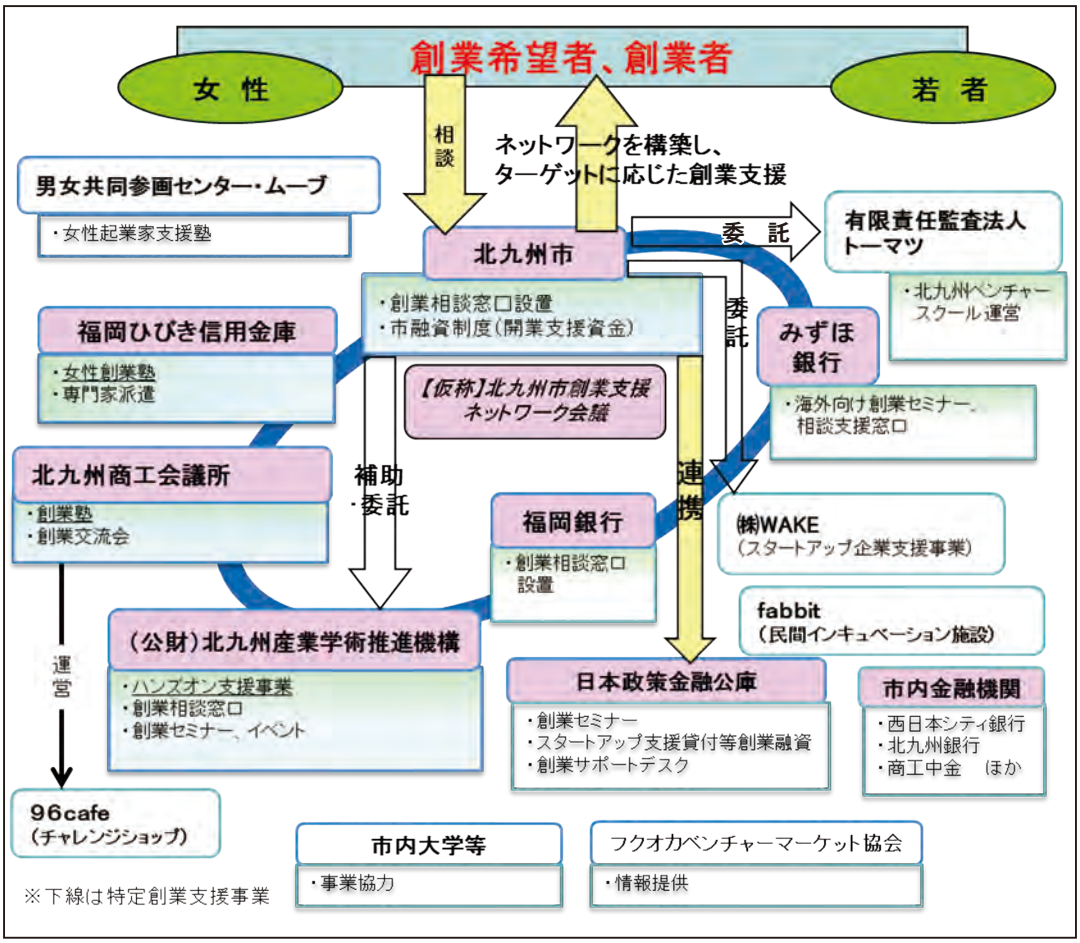
また、今後活躍が期待される女性や若者等を主な支援対象者として、多様で付加価値の高い雇用を創出させていくこととしています。

本計画期間は、平成26年度から平成27年度までの２年間とし、創業希望者に対してハンズオン支援や創業セミナー等、創業の実現に向けた効果的な支援策を実施していきます。

「北九州市創業支援事業計画」に掲げる事業のうち、創業者の経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識習得を目的として継続的に行う事業を特定創業支援事業といい、この事業の認定を受けた方は、北九州市の開業支援資金の対象となるほか、株式会社設立時の登録免許税軽減などの国の支援を受けることもできます。

【北九州市創業支援事業計画に取組む機関】

中小企業支援機関	北九州商工会議所、(公財) 北九州産業学術推進機構
金融機関	株式会社みずほ銀行、株式会社福岡銀行、福岡ひびき信用金庫
行政機関	北九州市



＜お問合せ先＞
北九州市産業経済局中小企業振興課　TEL：093-873-1433　担当：床田、下川

若者の採用・育成に積極的な企業を募集!!

～平成 26 年度「北九州若者ジョブステーション」マッチング事業～

この事業は、若者の採用・育成に積極的な北九州市内の企業を対象に、若年求職者を職場実習で 1 ヶ月間受け入れていただき（紹介予定派遣）、実習終了後は、企業と求職者の双方の合意による正規雇用（原則）を目指すものです。

実習生に実際の職場や業務を体験させ、短期の育成を行うことで、実習生の適性などの確認ができ、入社後のミスマッチを軽減できます。

申込み
若者ワークプラザ北九州で希望の確認（求人受付）

→

マッチング
ご希望にマッチした人材の紹介（応募・面接）

→

職場実習
紹介予定派遣にて就業スタート（1ヶ月間）

→

採用
実習終了後、双方の合意に基づき直接雇用へ

事業参加のメリット

①北九州市が雇用対策として実施する事業のため企業側の**採用コストがかかりません。**（実習受け入れ期間中の賃金・交通費は受託事業者が負担します。）

②地元での就職を希望する意欲的な人材を採用していただく事で**企業の活性化と地元貢献**につながります。

③実習生への事前の基礎研修はもちろん、実習期間中のフォローも行います。また、そうした結果を企業側へフィードバックするなど、**人材育成や定着へのサポート**へ繋げます。

実施期間・・・平成 26 年 7 月～平成 27 年 3 月（予定）

※申込締切は平成 27 年 2 月まで（予定）（定員になり次第終了となります。）

【事業参加条件】

北九州市が実施する事業のため対象は下記の企業に限定させていただきます。

・北九州市内に事業所があること

・実習場所が北九州市内であること

お問い合わせ・お申込は・・・**若者ワークプラザ北九州**　TEL093-531-4510

http://www.shigotomarugoto.info/wakamono/　若者ワークプラザ北九州　検索

北九州市の就職支援事業で、求人受付中です！

－　人材確保に是非ご活用ください。－

利用無料

－ 大学等の新卒採用なら －

キタキュー就職ナビ（ 北九州地元企業向け新卒採用応援サイト）

http://www.kitakyushushoku.com　キタキュー就職　検索

大学生などを対象に、インターネットを利用して、北九州地域の地元企業を紹介する「学生向け就職情報サイト」です。企業の知名度向上、営業ＰＲツールとしてご利用ください。

また、新卒学生の採用情報が掲載でき、それに興味を持った学生からコンタクトを受けることができます。求人募集できる雇用形態は、正社員のみとなります。

利用対象

企業等　北九州市及び、隣接市町に勤務地を持つ求人企業・事業者

求職者　大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校を卒業予定の学生

－ 概ね40歳までの若年者を求めるなら －

若者ワークプラザ北九州

http://www.shigotomarugoto.info/wakamono

概ね 40 歳までの若年求職者の就業を支援している施設です。

カウンセリングや就職に関する情報提供、スキルアップを図るためのセミナーの開催、ミスマッチの少ない職業紹介など、民間事業者のノウハウ等を活用したワンストップのサービス提供を行っています。求人募集できる雇用形態は、正社員（常用雇用）や契約社員、パート、アルバイトなどとなります。また、求人開拓員が企業の皆様のもとへ訪問し、若者向けの求人の開拓も行っています。

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する（設置が決定している）企業

求職者　正社員、契約社員・パート・アルバイトなどをお探しの方

－ 即戦力人材をお探しなら －

Ｕ・Ｉターン促進事業

http://www.shigotomarugoto.info/ui-turn　北九州市　Ｕターン　検索

全国のＵターン・Ｉターン就職希望者と、即戦力人材の確保を目指す市内企業とを結び付けるため職業紹介を実施しています。ホームページより求人情報を登録すると、Ｕ・Ｉターン就職希望者に関する情報検索、面接案内の送付や、求職者からの面接エントリーの受付などを行うことができます。求人募集できる雇用形態は、正社員（常用雇用）のみとなります。

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する（設置が決定している）企業

求職者　現在、北九州市通勤圏外に居住する人（学生を除く）

お問い合わせ　北九州市産業経済局雇用政策課　TEL：０９３－５８２－２４１９

アドバイザー（社会保険労務士）を派遣します♪

～北九州市ワーク･ライフ･バランス推進アドバイザー派遣のご案内～

従業員 300 人以下の市内事業所は **無料**

一人ひとりの価値観が多様化する中で、従業員は「自分の成長につながる仕事」、「子育てや介護等ライフイベントに対応した働き方」、「地域とのつながり」など多様な働き方を求めています。

そこで、経営者が従業員一人ひとりの立場を理解し、それぞれの能力を生かす働き方を可能にすれば、社員のやる気向上や優秀な人材の獲得など様々なメリットをもたらします。これらを実現するのがワーク･ライフ･バランスであり、これから企業が取り組むべき経営戦略です。

北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会では、新たにワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に取り組もうとする事業者や、その充実を図ろうとする事業者に対し、助言や情報提供等を行う**ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー（社会保険労務士）**を派遣します。

【アドバイスの内容例】

- ★ **ワーク・ライフ・バランス推進のための各種支援・助成制度に関すること**
- ★ **就業規則や育児・介護休業に関すること**
- ★ **次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定**

など **1 回 2 時間程度**で、**4 回まで**派遣できます。

※従業員 101 人以上の事業者には、「一般事業主行動計画」の策定と届出が義務付けられています。
※改正育児・介護休業法の全面施行により、従業員 100 人以下の事業者も子育て等をしながら働き続けられる雇用環境の整備（短時間勤務制度、介護のための短期の休暇制度など）が義務付けられています。
→当事業ではそのお手伝いができます！

【対象事業者】次のいずれにも該当する事業者とします。

(1) 北九州市内に事業所を有し、派遣場所が市内であること
(2) ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ推進サイトで「キタキューかえる宣言」（取組宣言）をした（する）事業者
(3) 暴力団または暴力団員もしくは暴力団と密接な関係を有するものでないこと

【派 遣 費 用】

従業員 300 人以下の市内事業所は無料　（301 人以上の事業所にも有料で派遣します。）

申込方法

まずは下記のお問合せ先までご連絡ください。
申込書を送付しますので、下記申し込み先までご提出ください。
平成 26 年度の受付締切：平成２７年３月２０日（金）

派遣の決定

申請書類を審査し、その結果を事業所にお知らせします。

派 遣

アドバイザーがお伺いし、ご相談内容の実情を調査・分析し、課題解決に向けたアドバイスを行います。（派遣は３月末日まで。）

◆◇申込み・問合せ先◇◆

北九州市子ども家庭局男女共同参画推進部男女共同参画推進課

北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会事務局
構成団体：北九州商工会議所　(一社)北九州中小企業経営者協会
(一社)北九州中小企業団体連合会　福岡労働局　北九州市　ほか

〒803-8501　北九州市小倉北区城内１番１号
TEL：093-582-2405　　FAX：093-582-2624
http://wlb-kitakyushu.jp　「はじめよう!ワーク・ライフ・バランス」

北　中　連　日　誌

平成26年１月～７月

年月日	行　事　名	場　所	
26. 1. 6	北金会　新春祝賀会	八幡東区	大谷会館
〃	西日本シティ銀行新年賀詞交歓会	福岡市博多区	ホテル日航福岡
1. 8	北九州商工会議所新年賀詞交換会	八幡西区	ホテルクラウンパレス北九州
1. 9	北九州市行財政改革意見交換会	小倉北区	北九州市役所本庁舎
1.14	市暴力追放推進会議暴排研修会	〃	市庁舎３Ｆ大集会室
2. 3	企業対象暴力防止研修会	〃	北九州市役所本庁舎
〃	北九州市環境産業推進会議	〃	西日本総合展示場会議室
2.25	北中連　新春シンポジウム･交流会	〃	ステーションホテル小倉
2.26	「まつり起業祭八幡」実行委員会	八幡東区	大谷会館
3. 7	世界に広がる北九州の明日を考える会	小倉北区	北九州国際会議場
3.13	北九州市地域エネルギー推進会議	〃	西日本総合展示場会議室
3.14	北中連　情報委員会	〃	北九州市立商工貿易会館
3.19	九州職業能力開発大学校卒業式	〃	北九州国際会議場
3.20	市商連　プレミアム商品券説明会	〃	北九州市立商工貿易会館
3.22	北九州市立大学マネジメント研究科卒業研究発表会	〃	小倉リーセントホテル
3.25	北中連　正副会長会･理事会	〃	北九州市立商工貿易会館
3.26	福機連事務局長会議	福岡市博多区	中小企業振興センター
3.27	シルバー人材センター　理事会	小倉北区	シルバー人材センター
〃	九州機械工業振興会　理事会	戸畑区	九州機械工業振興会
4. 3	九州職業能力開発大学校　入学式	小倉北区	北九州国際会議場
4. 4	求人開拓事業開拓員辞令交付	〃	北九州市立商工貿易会館
4. 8	北中連　表彰選考委員会	〃	〃
4.21	北中連　正副会長会･理事会	〃	〃
4.23	北九州雇用対策協会幹事会	〃	ホテルクラウンパレス小倉
4.30	シルバー人材センター　理事会	〃	シルバー人材センター
5. 1	九州機械工業振興会　監査	戸畑区	九州機械工業振興会

年月日	行　事　名	場　所	
5.14	市商連　役員･販促委員合同会議	小倉北区	北九州市立商工貿易会館
5.15	エコアクション21地域運営委員会	戸畑区	テクノセンター
5.20	九州機械工業振興会　理事会	〃	九州機械工業振興会
5.21	北中連　第39回通常総会	小倉北区	ステーションホテル小倉
5.26	市商連　監査	〃	北九州市立商工貿易会館
5.27	北九州市環境産業推進会議	〃	ホテルクラウンパレス小倉
5.29	北九州市環境審議会	〃	リーガロイヤルホテル小倉
5.30	シルバー人材センター　定時総会	戸畑区	戸畑市民会館
6.2	北九州学術産業学術推進機構会議	小倉北区	北九州市役所本庁舎
6.3	福岡県中小企業団体中央会　定時総会	福岡市博多区	中小企業振興センター
6.6	福岡県機械金属工業連合会　定時総会	〃	〃
6.11	小倉法人会総会	小倉北区	ホテルニュータガワ
6.12	北九州市商業総連合会総会	〃	リーガロイヤルホテル小倉
6.16	北中連　正副会長会･理事会	〃	北九州市立商工貿易会館
6.18	西日本製造技術イノベーション2014開会式	〃	西日本総合展示場
6.19	北九州産業学術推進機構会議	〃	北九州市役所本庁舎
6.24	北九州市ワーク･ライフ･バランス推進協議会	〃	北九州市役所本庁舎
6.25	北九州産業学術推進機構会議	若松区	北九州学術研究都市
7.2	北金会　講演会	八幡東区	千草ホテル
7.9	北中連創立60周年記念事業実行委員会	小倉北区	北九州市立商工貿易会館
7.19	ノンタン展開会式	〃	北九州市立文学館
7.22	北中連　金融税制委員会	〃	北九州市立商工貿易会館
〃	北中連　サービス業その他の業種部会	〃	〃
7.23	北中連　商業部会	〃	〃
〃	北中連　建設関連部会	〃	〃
7.28	北中連　工業部会	〃	ホテルニュータガワ
〃	福機連北九州支部総会･卓話会	〃	〃
7.30	北九州地区雇用対策推進協議会	〃	小倉公共職業安定所
7.31	福岡県地域経済懇談会	〃	ホテルニュータガワ

会　員　名　簿

（H26．7．1現在）

1号会員

No.	組合の名称	〒	組合の所在地	TEL
1	北九州スポーツ用品(協)	800-0024	門司区大里戸ノ上1丁目3-13	381-0141
2	新門司工業団地(協)	800-0115	門司区新門司3丁目67-60	483-1111
3	(協)大里商店連合会	800-0025	門司区柳町1丁目2-11	381-4127
4	東門司商店街(協)	801-0873	門司区東門司1丁目12-31	332-7277
5	門司中央市場商業(協)	801-0864	門司区老松町1-18	321-4025
6	(協)一　乗	803-0801	小倉北区西港町61-14	591-4100
7	魚町一丁目商店街(振)	802-0006	小倉北区魚町1丁目1-15	551-4828
8	魚町サンロード商店街(協)	802-0006	小倉北区魚町3丁目3-20	531-0331
9	魚町商店街(振)	802-0006	小倉北区魚町3丁目1-15	521-6801
10	北九州広域生コンクリート(協)	802-0001	小倉北区浅野2丁目6-16　マルサンビル2F	511-6699
11	北九州市青果商業(協)	803-0801	小倉北区西港町94-9　北九州市中央卸売市場内	583-2284
12	北九州市防水工事業(協)	802-0082	小倉北区古船場町4-17　近藤ビル2F	531-4607
13	北九州中小商工業者(協)	802-0065	小倉北区三萩野2丁目3-5　民商会館内	921-6981
14	北九州ビルメンテナンス(協)	802-0081	小倉北区紺屋町4-6　北九州ビル	531-3288
15	北九州ファッション産業開発(協)	802-0004	小倉北区鍛冶町2-2-11　NRCC	511-1800
16	黄金商店街(協)	802-0071	小倉北区黄金1丁目1-23　2F	941-9182
17	小倉魚町二番街(協)	802-0002	小倉北区京町2-7-18　ISビル3F	522-0148
18	小倉駅前商店街(協)	802-0002	小倉北区京町2丁目7-15	511-6104
19	小倉機器工業(協)	802-0011	小倉北区重住3丁目4-25　㈱九州発条内	931-0484
20	小倉タクシー事業(協)	803-0861	小倉北区篠崎1丁目6-2	591-0630
21	小倉中央銀座商店街(協)	802-0006	小倉北区魚町1丁目2-5	531-6785
22	小倉電気工事業(協)	802-0026	小倉北区大畠1丁目7-15	521-3203
23	戸畑貨物センター (協)	803-0801	小倉北区西港町92-6	571-4337
24	(協)日専連北九州	802-0005	小倉北区堺町1丁目6番15号　日専連ビル9F	521-7550
25	毎日新聞西部販売店(協)	802-8651	小倉北区紺屋町13-1	541-3274
26	(協)北九州イベントスタッフ協会	802-0823	小倉南区舞ヶ丘2-3-8	963-1099
27	北九州エルピーガス事業(協)	802-0978	小倉南区蒲生1-1-26-3F　LPガス会館内	962-6803
28	北九州工業団地(協)	800-0211	小倉南区新曽根8-39	471-7159
29	キック(協)	800-0221	小倉南区下曽根新町13-1　㈱アステムヘルスケア内	473-0355
30	小倉鉄工団地(協)	803-0185	小倉南区石原町175番地	451-0150
31	新日本設備工業(協)	803-0185	小倉南区大字石原町　小倉鉄工団地内　日田建工㈱内	452-3835
32	東小倉工業団地(協)	800-0211	小倉南区新曽根3-7	473-4010
33	北九州運輸(協)	805-0061	八幡東区西本町1丁目3-18	671-1991
34	九築工業(協)	805-0017	八幡東区山王1丁目9-10　経理課	671-1635
35	共栄開発(協)	805-0019	八幡東区中央2丁目24-5　㈱芳賀内	671-1316

No.	組合の名称	〒	組合の所在地	TEL
36	玉栄茶業(協)	806-0021	八幡西区黒崎5丁目5-22　㈱大黒屋内	645-5588
37	ジェーイーシー (協)	805-0019	八幡東区中央3丁目2-20　エルゼ内	681-1233
38	八幡祇園町銀天街(協)	805-0067	八幡東区祇園2丁目7-5	671-3758
39	八幡中央区商店街(協)	805-0019	八幡東区中央2丁目16-10	671-4340
40	八幡電気工事業(協)	805-0061	八幡東区西本町1-11-3　北鐵ビル2F	681-7572
41	(協)吉川グループ	805-0059	八幡東区尾倉2丁目1-2　吉川工業㈱内	671-8626
42	(協)安協会	806-0011	八幡西区紅梅3丁目1-21	631-3711
43	(協)折尾商連	807-0825	八幡西区折尾3丁目1-32	691-1462
44	北九州トヨタグループ(協)	806-0041	八幡西区皇后崎町14-6	642-2111
45	黒崎駅前新天街(協)	806-0021	八幡西区黒崎2丁目7-16	
46	三ヶ森商店街(振)	807-0843	八幡西区三ヶ森3丁目10-18	612-2261
47	西部興産グループ事業(協)	806-0064	八幡西区割子川1丁目17-32	612-7711
48	萩原・青山商店街(協)	806-0059	八幡西区萩原1丁目7-10	621-5416
49	九州ツバメ石油(協)	804-0077	戸畑区牧山海岸4-48	871-1330
50	(協)くすりの九友会	804-0091	戸畑区三六町14-12	871-1220
51	清掃美化(協)	804-0021	戸畑区一枝3丁目6-12	883-1552
52	(協)テクノタウン戸畑	804-0077	戸畑区牧山海岸2-26	871-2738
53	天神商店街(振)	804-0094	戸畑区天神2丁目9-8	882-8488
54	戸畑新工業団地(協)	804-0077	戸畑区牧山海岸3番10号	861-1170
55	戸畑中本町商店街(協)	804-0061	戸畑区中本町3-10　中本町ビル	881-5473
56	西日本砂、砂利採取販売(協)	804-0075	戸畑区北鳥旗町2-15　KSKビル	871-2701
57	福壽産業(協)	804-0011	戸畑区中原西2丁目18-12	871-3724
58	北九州葬祭業(協)	808-0024	若松区浜町2丁目3-28　㈱光善社内	761-2559
59	北九州塗装(協)	808-0109	若松区南二島2丁目17-18	701-2300
60	北九洲包装函(協)	808-0021	若松区響町1丁目88-11　山本段ボール㈱内	751-0200
61	鶴丸海運船主(協)	808-0034	若松区本町1丁目5-11　鶴丸海運内	761-5631
62	響工業団地(協)	808-0022	若松区大字安瀬1番地25	751-4561
63	明治町商店街(振)	808-0034	若松区本町2丁目9-4	761-5473
64	遠賀食肉事業(協)	811-4302	遠賀郡遠賀町広渡2434　㈱福永産業内	293-2299
65	北九州西部青果(協)	809-0001	中間市大字垣生字東七反田1500	243-5177
66	第一物流センター (協)	811-4311	遠賀郡遠賀町大字老良365-1	293-3270
67	中間市管工事(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-1	245-0077
68	中間市建設(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-5	245-1787
69	築上西部液化ガス事業(協)	829-0313	福岡県築上郡築上町有安179番地	0930-56-0183

２号会員

No.	企業名(団体名)	〒	住　　所	ＴＥＬ
1	福岡ひびき信用金庫	805-0059	八幡東区尾倉2丁目8番1号	661-2311
2	(株)オフィスソリュ―ションズ北九州	803-0831	小倉北区日明3丁目6-20	591-2711
3	(株)カンペックス	807-0821	八幡西区陣原1丁目15-15	643-6065
4	(有)フジプロダクション	802-0064	小倉北区片野1丁目13-1-202	922-3191
5	よしみ工産(株)	804-0094	戸畑区天神1丁目13-5	882-1661
6	北九州高齢者能力活用協議会	804-0067	戸畑区汐井町1-6　ウェルとばた8F	881-6699
7	(株)アクシス	807-0822	八幡西区瀬板1丁目16-1	603-8711
8	(株)せいぜん葬儀誠善社	803-0861	小倉北区篠崎1丁目6-2	571-9999
9	社会福祉法人 福岡コロニー	811-0111	粕屋郡新宮町緑ヶ浜1丁目11番1号	092-962-0764
10	北九州商工会議所	802-8522	小倉北区紺屋町13-1	541-0181
11	(公社)九州機械工業振興会	804-0003	戸畑区中原新町1-1	861-3001
12	(一社)福岡県機械金属工業連合会北九州支部	803-0801	小倉北区古船場町1-35　商工貿易会館7F　北中連内	531-0127
13	北九州市商業総連合会	803-0801	小倉北区古船場町1-35　商工貿易会館7F　北中連内	531-0127
14	(有)システムハウジング	807-0804	八幡西区医生ヶ丘3-5	691-0020
15	(株)総合システム	807-0804	八幡西区医生ヶ丘3-5	603-7174
16	本城西商店連合会	807-0804	八幡西区医生ヶ丘3-5	603-0009
17	西日本産業(株)	804-0041	戸畑区天籟寺1丁目6番17-1	883-1281
18	(株)メイケン九州	803-0826	小倉北区高峰町4-11	582-4588
19	明光運輸(株)	804-0094	戸畑区天神2丁目2-27	871-5690
20	(株)フジコー	804-0011	戸畑区中原西2丁目18-12	871-3724
21	(株)測　研	804-0013	戸畑区境川2丁目4-5	883-1511
22	(株)ケィ・ビー・エス	802-0014	小倉北区砂津1丁目2-13	522-0096
23	(株)大分銀行	802-0003	小倉北区米町1丁目1番21号	521-8336
24	(株)西日本シティ銀行北九州総本部	802-0006	小倉北区魚町3丁目5-5	511-0926
25	(株)井上産商	804-0092	戸畑区小芝3丁目8番22号	882-2881
26	(株)山本工作所	805-8514	八幡東区大字枝光1950番地の10	681-0378
27	丸正鋼材(株)	808-0109	若松区南二島2丁目2-22	791-5133
28	清新産業(株)	805-0017	八幡東区山王1丁目16番8号	661-4635

残暑お見舞い申し上げます

一般社団法人 北九州中小企業団体連合会

会長 自見榮祐

副会長	池田幹友	副会長	大坪常三郎
〃	安心院武彦	〃	松本和朗
〃	梯輝元		
常任理事	富澤善和	常任理事	岩男平八郎
〃	村山克彦	〃	福山征也
〃	宮﨑敏久		
理事	原田健次	理事	白石春利
〃	岡住奏	〃	川田至
〃	永瀬信親	〃	大江宏成
〃	髙木壽則	〃	竹原健次
〃	樋口和宏		
監事	杉岡密雄	監事	山岡義昭
〃	井上弘		

中小企業大学校 直方校

当校で人材育成に取り組んでみませんか？

中小企業大学校は、このような企業様に最適です！

・会社の将来を担う人材の育成をしたいが社内に人材育成の仕組みがない！
・業務に役立つ体系的な知識やスキル、最新の情報を取得したい！
・業績が停滞し、浮上のきっかけが欲しい！
・同業他社や異業種の方々と、交流したい！

地域と中小企業の活力を生み出す“人づくり”をサポートするため実践的な研修コースを提供しています。

◆全国に9校設置　◆豊富な研修コース
◆実務経験豊富な講師陣
◆選べる研修形態　◆公的助成制度が利用可能

≪お申込、お問い合わせは≫

中小企業大学校 直方校

〒822-0005 福岡県直方市永満寺1463-2
ＴＥＬ0949-28-1144　ＦＡＸ 0949-28-4385
ＵＲＬ http://www.smrj.go.jp/inst/nogata/

直方校　検索

☆研修のご案内☆

研修テーマ及び内容	会場／実施期間／締切日	受講料／定員／対象
◆No.121 女性管理者研修Ⅱ ～ 女性の強みを活かした 効果的なリーダーシップと マネジメントで企業力UP！ ～ 女性管理者及び女性リーダーを対象とし、管理者としてのマネジメント力の更なる強化を図り、企業価値や業績向上に貢献するために必要な知識とスキルを学びます。	会場 中小企業大学校直方校 実施期間 10月22日(水)～24日(金) 【3日間コース:21時間】 締切日 定員になり次第締め切ることがあります。	受講料 31,000円 定員 30名 対象 女性管理者及びリーダー
◆No.304 海外販路開拓と商談・交渉の進め方 ～海外進出へ向けた 基礎知識を学ぶ～ 海外市場において販路開拓を行っていくうえで知っておくべき基礎知識や販路開拓の具体的な進め方を理解していただいたうえで、海外顧客との商談・展示会などにおいて必要となる英語での交渉の進め方について、演習を交えながら実践的に学びます。	会場 中小企業大学校直方校 実施期間 11月11日(火)、 12月4日(木)～5日(金) 【1日＋2日間:21時間】 締切日 定員になり次第締め切ることがあります。	受講料 31,000円 定員 30名 対象 中小企業の経営幹部・管理者等
◆No.124 戦略的意思決定とアントレプレナーシップ ～自社を存続・成長させる カギは、イノベーションと アントレプレナーシップにあり！～ 経営能力を高め、イノベーションの実現を通じて、自社を存続・成長させるリーダーに必要な資質であるアントレプレナーシップについて学んでいただくとともに、これを活用した意思決定について、事例研究を通して学びます。	会場 中小企業大学校直方校 実施期間 11月18日(火) 【1日間コース】 締切日 定員になり次第締め切ることがあります。	受講料 16,000円 定員 25名 対象 中小企業の経営幹部・管理者等

残暑お見舞い申し上げます

小倉北区魚町三丁目一番十五号
電　話　五二一―六八〇一
ＦＡＸ　五二一―六八〇九

魚町商店街振興組合

代表理事　梯　輝元

門司区新門司三丁目六七番地の六〇
電　話　四八三―一一一一

新門司工業団地協同組合

代表理事　白石正浩

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

支部長　**自見榮祐**

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
市立商工貿易会館７階北中連内
電　話　093-531-0127
ＦＡＸ　093-531-0399

小倉北区京町二丁目七番十八号　ＩＳビル３Ｆ
電　話　五二二―〇一四八

小倉魚町二番街協同組合

理事長　杉岡密雄

小倉北区魚町一丁目二番五号
電　話　五三一―六七八五
ＦＡＸ　五三一―六七八六

花いっぱい　ちゅうぎん通り

小倉中央銀座商店街協同組合

理事長　井上弘

小倉北区紺屋町十二番四号
三井生命北九州小倉ビル四階
電　話　五三一―〇一八一

福岡県中小企業団体中央会青年部連絡協議会北九州地区ブロック会

会長　松田敏秀

小倉北区紺屋町十二番四号
三井生命北九州小倉ビル四階
電　話　五三一―〇一八一

北九州地区商店街連合会

会長　中川昭之

小倉北区重住三丁目四番二十五号
㈱九州発条内
電　話　九三一―〇四八四
ＦＡＸ　九三一―〇四八五

小倉機器工業協同組合

理事長　安心院武彦

小倉北区京町二丁目七番十五号
電話・ＦＡＸ　五一一―六一〇四

小倉駅前商店街協同組合

理事長　杉岡密雄

北九州市防水工事業協同組合

理事長　**川田　至**

〒802-0082
北九州市小倉北区古船場町4-17　近藤ビル２Ｆ
TEL（093）531-4607　FAX（093）531-4609
E-mail:kitakiyu.bou@train.ocn.ne.jp

残暑お見舞い申し上げます

小倉南区新曽根八番三十九号
電話 四七一―七一五九
FAX 四七一―七一七一
北九州工業団地協同組合
代表理事 松本和朗

小倉南区新曽根三番七号
電話・FAX 四七三―四〇一〇
東小倉工業団地協同組合
代表理事 山岡義昭

小倉南区蒲生一丁目一番二十六号LPガス会館内
電話 九六二―六八〇三
FAX 九六二―六八一〇
北九州エルピーガス事業協同組合
代表理事 高宮歳繼

小倉北区大畠一丁目七番十五号
電話 五二一―三二〇三
FAX 五四一―二五九五
小倉電気工事業協同組合
理事長 永瀬信親

八幡西区楠橋南一丁目十一番二号
電話 六一九―一三八一
FAX 六一九―一三八二
協同組合 一乗
代表理事 大坪常三郎

八幡西区萩原一丁目七番十号
電話 六二一―五四一六
萩原・青山商店街協同組合
理事長 岩男平八郎

八幡東区西本町一丁目十一番三号
電話 六八一―七五七二
FAX 六八一―五一二〇
八幡電気工事業協同組合
理事長 樋口和宏

小倉南区大字石原町一七五番地
電話 四五一―〇一五〇
FAX 四五一―〇一五二
小倉鉄工団地協同組合
代表理事 村山克彦

当振興会は教育研修・材料試験・機械加工の
３事業で地域中小企業等を支援しております。

公益社団法人 九州機械工業振興会

教育研修
クレーン運転士（国家資格）、玉掛け・床上技能等
非破壊検査技術資格、研修室の開放利用

材料試験
各種鉄鋼、建設材料及びプラスチック等材料試験

機械加工
大型且つ高精度な機器による加工、三次元測定等

〒804－0003
北九州市戸畑区中原新町1番1号（北九州テクノパーク内）
TEL 093－861－3001 http://www.kyukishin.or.jp/
FAX 093－861－3007 e-mail:info@kyukishin.or.jp

北九州塗装協同組合

理事長 大石浩人

他 組合員一同

〒808-0109 北九州市若松区南二島二丁目17番18号
電話 093-701-2300
FAX 093-791-3997
［URL］ http://www.kita-pc.com
E-mail:k-toso-k@circus.ocn.ne.jp
E-mail:ccg000242686@kaw.bbiq.jp

残暑お見舞い申し上げます

築上郡築上町大字有安一七九番地
電　話　〇九三〇―五六―〇一八三
築上西部液化ガス事業協同組合
理事長　平川貞夫

中間市中間一丁目六番一号
電　話　二四五―〇〇七七
中間市管工事協同組合
理事長　須藤　淳

中間市中間一丁目六番五号
電　話　二四五―一七八七
ＦＡＸ　二四五―一七八八
中間市建設協同組合
理事長　福山征也

中間市大字垣生字東七反田一五〇〇
電　話　二四三―五一七七
ＦＡＸ　二四三―五一七八
北九州西部青果協同組合
理事長　壇　政敏

戸畑区牧山海岸二番二十六号
電　話　八七一―二七三八
ＦＡＸ　八七一―二七三九
協同組合テクノタウン戸畑
理事長　白石春利

戸畑区天神二丁目九番八号
電　話　八八二―八四八八
ＦＡＸ　八八二―八四八九
天神商店街振興組合
理事長　髙木壽則

小倉北区古船場町一番三十五号
電　話　五三一―〇一二七
北中連組合事務局協議会
代表幹事　自見政芳

戸畑区天籟寺一丁目六番十七―一号
電　話　八八三―一二八一
ＦＡＸ　八八一―一六九六
西日本産業株式会社
代表取締役　麻生重樹

YOSHIMI KOHSAN CORPORATION
18190080
印刷のことならよしみ工産に
お任せ下さい!
企画、制作から印刷までを手がける経験豊富な実績で
お客様に満足をご提供いたします!
総合印刷　よしみ工産株式会社
本　　社　〒804-0094　北九州市戸畑区天神１丁目13-5　TEL 093-882-1661(代)
福岡営業所　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前１丁目23-28　TEL 092-481-9559(代)
東京事務所　〒113-0033　東京都文京区本郷３丁目26-1　本郷宮田ビル３階　TEL 03-5802-5601(代)

残暑お見舞い申し上げます

幸せは、駅の上に。

◆ご宴会　◆お食事
◆ご婚礼　◆ご宿泊

STATION HOTEL KOKURA ステーションホテル小倉

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-1-1　TEL 093-541-7111(代)

リコー特約販売店　防犯・防災システム構築
スチール家具オフィス用品・各社取扱い

株式会社
オフィスリューションズ北九州

代表取締役　木　下　健　治
（旧社名　株式会社　渡辺商事）

〒804-0054
福岡県北九州市戸畑区牧山新町１番23号
TEL 093-884-2711/FAX 093-884-2755

www.office-sk.co.jp/ 検索

高齢者の豊かな知識と経験で、
真心と技術を提供いたします。

主な仕事
・除草・植木の手入れ
・ご家庭の掃除、洗濯、炊事等
・子守などの育児支援
・宛名書きなど

公益社団法人 北九州市
シルバー人材センター
http://www.kitakyusilver.jp（法律に基づく「公益法人」です。）

〒802-0062
小倉北区片野新町1丁目1-6
TEL 922-4801（シゴトハ イチ バン）

福岡県中小企業団体中央会

会　長　正　木　計太郎

副会長　髙木　郁夫　　副会長　桑野　龍一
〃　自見　榮祐　　〃　松田　英雄
〃　瀬口　裕章　　専務理事　城　裕介
〃　楠下　広師

他 役職員一同

本　所　〒812-0046　福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センター９階
TEL092-622-8780　FAX092-622-6884
http://www.chuokai-fukuoka.or.jp/

北九州支所　〒802-0081　北九州市小倉北区紺屋町12番４号
三井生命北九州小倉ビル４階
TEL093-531-0181　FAX093-531-0469
E-Mail:kokura@chuokai-fukuoka.or.jp

一般社団法人 福岡県機械金属工業連合会

会　長　松本和朗　　副会長　森田利彦
副会長　自見榮祐　　〃　安永充孝
〃　尾中盛和　　常務理事　西村慎一

他 役員一同

〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センタービル11F 115号室
電話 092-612-5155　FAX 092-612-5178
E-mail：info@fukukiren-monodzukuri.jp
URL：http://www.fukukiren-monodzukuri.jp

残暑お見舞い申し上げます

北九州市商業総連合会

会　長　中　川　昭　之

副会長　永　田　　眞（門司区）
〃　甲　山　博　美（小倉北区）
〃　田　中　孝　文（小倉南区）
〃　澤　村　弘　義（八幡東区）
〃　宮　﨑　敏　久（戸畑区）
〃　安　部　研　一（若松区）

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号　商工貿易会館７階
電話　093-531-0127　FAX　093-531-0399

みなさまの明日を
バックアップします。

福岡県信用保証協会　北九州支所

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
北九州市立商工貿易会館
電　話　093-551-2631
ＦＡＸ　093-522-4754
ホームページ　http://www.fukuoka-cgc.or.jp/

“より快適な住まいのご相談は”
ガス機器・リフォーム・住宅設備機器販売

西部ガスリビングメイト
株式会社 総合システム

〒807-0804　北九州市八幡西区医生ヶ丘３番５号
☎ 093-603-7174

残暑お見舞い申し上げます

響工業団地協同組合

代表理事　自　見　榮　祐

〒808-0022　北九州市若松区大字安瀬１番地25

電　話　093-751-4561

ＦＡＸ　093-751-4565

年長者の里 小倉（白銀）西館

平成27年３月オープン

プラネタリウム

社会福祉法人　ELDERS

年長者の里　理事長　芳賀（はが）　晟壽（あきとし）

【本部】〒805-0048 北九州市八幡東区大蔵３丁目 2-1　TEL：093-652-3939

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ URL：http://www.nenchousha.com　FAX：093-652-3999

会員加入のご案内

本連合会では、時代や経済の変化とともに会員規定を見直し、従来の正会員（協同組合等）を「１号会員」とし、賛助会員のうち法人や法人を構成員とする団体を「２号会員」として、本連合会の運営に参画いただき、幅広い意見等を取入れ組織の活性化と拡大を図っています。

つきましては、本連合会の概要と趣旨をご理解のうえ、積極的にご加入いただきますようご案内申し上げます。

記

１　加　入　方　法　下記申込書にご記入のうえ、切り離してご投函ください

２　会　　費　「１号会員」　出資金による差等割

「２号会員」及び「賛助会員」　年額　10,000円

※ご加入後に会費の請求をさせていただきます。

３　事業の利用料　（１）会が主催する講演会、講習会、研究会等は無料

但し、懇親会等は実費を負担願います。

（２）FAX通信及びホームページ利用は事前に事務局へご相談ください。

郵便はがき

8 0 2-8 7 9 0

（受取人）

北九州市小倉北区古船場町一一三五

市立商工貿易会館　七階

一般社団法人 北九州中小企業団体連合会 行

（☎五三一一〇一一七）

料金受取人払郵便

北九州中央局
承　認
4294

差出有効期間
平成27年12月
31日まで
★切手不要

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会　概要

1　沿　　革

昭和29年９月21日　任意団体北九州中小企業団体連合会として発足
昭和43年12月５日　北九州中小企業協同組合連合会として法人化
昭和50年８月22日　社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更
平成25年４月１日　一般社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更

2　事　　業

主に、講演会、シンポジウムの開催や会報の発行及び国、県、市などの中小企業施策や研修会、講習会等をFAXにより情報提供を行なっています。

また、工業部会、商業部会、建設関連業部会、サービス業その他業種部会の４部会及び金融税制委員会、情報委員会の２委員会を設置しており、各業界や業種の状況を把握し、県や市に対する意見や要望を集約して、毎年、建議・陳情を行なっています。

3　会員資格

「１号会員」北九州市、行橋市、豊前市、中間市、京都郡、築上郡、及び遠賀郡に事務所を有する中小企業等協同組合、商店街振興組合、商工組合及び協業組合
「２号会員」本法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする法人並びにこれらの者を構成員とする団体
「賛助会員」本法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする個人

平成　　年　　月　　日

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
会　長　自　見　榮　祐　殿

住　　所
企業(団体)名
代 表 者 名　　㊞

会員加入申込書

1　業 務 内 容
2　資本金（出資金/総額）　　万円
3　従 業 員 数　　男性　　名、女性　　名、合計　　名
4　実務担当者名
5　連　絡　先　　TEL
　　FAX
6　郵 便 番 号

残暑お見舞い申し上げます

- ポスター
- チラシ
- パンフレット
- リーフレット
- カタログ
- ダイレクトメール
- 自費出版
- 広報誌
- 機関誌
- 書籍
- 文集
- 詩歌集
- 各種マニュアル
- 会議資料
- 帳簿
- 封筒
- さをり織り
- 製麺（冷凍うどん）

etc.

印刷・さをり織り
コロニー印刷
社会福祉法人　福岡コロニー

本部・工場　〒811-0119　粕屋郡新宮町緑ケ浜一丁目11番1号
TEL. (092) 962-0764　FAX. (092) 962-0768

南福岡営業所　〒816-0934 大野城市曙町二丁目4-18（福岡県障害者就労支援ホーム あけぼの園）
TEL. (092) 501-7405　FAX. (092) 501-7425

博多営業所　〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 中小企業振興センタービル1階
TEL. (092) 611-2341　FAX. (092) 501-7425

古賀営業所　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL. (092) 944-4422　FAX. (092) 944-4071

なのみの里　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL. (092) 944-4308　FAX. (092) 944-4309

なのみ工芸　TEL. (092) 944-4419　FAX. (092) 944-4071

- ○ 障害者支援施設　福岡コロニー
- ○ 障害福祉サービス事業所　わーくはうすコロニー
- ○ 障害者就労継続支援A型事業所　福岡福祉工場
- ○ 障害者支援施設　福岡県障害者就労支援ホーム あけぼの園
- ○ 障害福祉サービス事業所　なのみ工芸
- ○ 障害者支援施設　なのみの里
- ○ 古賀市障害者生活支援センター　「咲」
- ○ 障害者就業・生活支援センター　「ちどり」
- ○ 一体型共同生活介護事業所　ケアホームかづる
- ○ 相談支援事業所　福岡コロニー

中小企業団体の歌

高原泰助　作詞
飯田信夫　作曲

一
国の礎（いしづえ）　中小企業
精神（こころ）は一つ　団結の
固き盟（ちかい）に　結ばれて
希望に燃（も）ゆる　この組織
ああ組合の　大使命

二
ともに手をとり　足並揃え
励みは楽し　団結の
強き力に　護（まも）られて
荊棘（いばら）の道を　切り開く
ああ組合の　大事業

三
相互扶助こそ　われらの誇り
やがては築く　団結の
高き功（いさお）に　輝きて
栄える店に　工場に
ああ組合の　大理想

中小企業の団結と地域の活性化を目指す

北中連だより　平成26年8月31日発行　2014年夏季号　通巻120号

発行人　自見榮祐
編集人　野瀬　勝
発行所　一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
Kitakyushu Small & Medium Sized Businesses Organization
〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館７階
Tel.093(531)0127　Fax.093(531)0399
http://www.hokuchu.or.jp/
印刷所　社会福祉法人　福岡コロニー

加来　保　「創生」　1998年　　国立関門医療センター蔵